

# APPROACH

KOBE

ア70-7

NO.38

2009.1.23



特別企画

神戸市・天津市  
友好都市提携35周年記念訪問団



(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部



***APPROACH No.38***

(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部

# APPROACH No.38

年頭挨拶	新年を迎えて	神戸支部長	山本康一郎	1
	新年のご挨拶	神戸市長	矢田 立郎	2
	新年ご挨拶	神戸市都市計画総局参事	浅野 高史	3
	年頭にあたって	神戸市都市計画総局建築指導部長	傳田 雅明	4
	新年のご挨拶	神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課長	中川 佳秀	5
	新年を迎えて	神戸市住宅供給公社すまいまちづくり本部長	倉橋 正己	6
	新年のご挨拶	神戸支部副支部長	岡田 徹	7
	年頭にあたり	神戸支部副支部長	竹中 郁雄	8
	新年ご挨拶	神戸支部副支部長	迫水 和裕	9
特別企画	神戸市・天津市 耐震化セミナー報告			10
		神戸支部長	山本康一郎	
	神戸市・天津市友好都市提携35周年 記念訪問団			14
			瀬戸本 淳	
事業経過報告	定時総会・講習会・研修見学会			20
	INAX研修見学会・親睦花見散策会			22
		神戸支部事業部	川崎 史	
	KOBE住宅フェア 新築・増改築・リフォームの相談会			24
	兵庫県立兵庫工業高等学校 耐震診断実習08			25
	一級建築士事務所プラマ190		竹中 郁雄	
	(株)兵庫県建築士事務所協会神戸支部日帰り研修会			32
	神戸支部・阪神支部合同 親睦研修一泊旅行			33
		前田信行一級建築士事務所	前田 信行	
	工事現場見学会・合同地区別連絡協議会			36
		研修部 幹事	廣原 俊元	
	第25回親睦ボーリング大会			37
	同好会だより			38
作品紹介				39
特別寄稿	下町は老若男女のパラダイス			44
		下町レトロに首っ丈の会隊長 一級建築士事務所状況設計室代表	山下 香	
	六甲道駅南地区の震災復興再開発事業			53
		神戸市住宅供給公社 理事	倉橋 正己	
神戸市からのお知らせ	CASBEE神戸～神戸市建築物総合環境評価制度～について			63
祝 受賞	受賞者紹介			65
新会員紹介				66
協賛広告				67
投稿のお願い・編集後記				70

本誌の掲載文は、執筆者が個人の責任において自由に書く建前をとっております。掲載文の文責は執筆者本人にあります。



## 新年を迎えて

神戸支部長 山本 康一郎

新年明けましておめでとうございます。

神戸支部会員並びに賛助会員の皆様には、平素より支部活動に多大なご協力を賜りまして誠に有難うございます。心より厚く御礼申し上げます。

昨年4月の総会にて、歴史ある神戸支部長を仰せつかり、早9ヶ月が経ちました。新年を迎えることが出来たのも、神戸市・天津市友好都市締結35周年記念事業では「耐震化セミナー」の機会と与えて頂いたり、また多くの方々に支えられたお陰と深く感謝申し上げます。

国内の建築業界のさまざまな問題に振り回されているうちに、世界は百年に1度と言われる未曾有の金融危機と、世界同時不況への不安のなかで新年を迎えました。本年こそは、神戸支部創立50周年にふさわしい輝かしい年にしたいと願いを込めて業務に精励していきたくと思います。

さて、昨年の建築業界は、一昨年の建築基準法と建築士法の大改正に引き続き、新建築士法が11月28日に施行され、建築士事務所の管理建築士資格取得講習が始まりました。また、構造設計・設備設計者への新たな資格制度が出来ました。そして今年の5月27日以降は、高度な専門能力を必要とする一定の建築物の設計には構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の関与が必要になり、さらなる建築確認手続きの停滞が起こり官制不況が始まるのではないかと大変危惧するところであります。

さらに設計業界に止めをさすごとく、建築士事務所に属する建築士には、3年毎に定期講習の受講と考査が始まります。また建築主に対しては、設計・工事監理契約の締結前に必ず書面を交付して、重要事項の説明をする義務が生じるなど、従来の事務所運営から大胆に「CHANGE!」をしないと生き残れない時代になります。

さて、今年も厳しい環境が待ち構えているにもかかわらず、神戸支部にとって大変重要な事業を行う年であり、最優先で取り組んで行かなければなりません。

まず第一は、業務報酬基準の建設省告示1206号が全面的に改定されるのを契機として、支部会員はもとより、全国すべての建築士事務所が立ち上がり、声を大にして正当な報酬を得る行動を起こすことが必要と考えます。我々は、将来、建築設計を担う若者たちに、夢と希望が持てる仕事として創造していく責務があると思います。

第二は、種々の神戸支部創立50周年記念事業を成功裡に行うことです。主な対外事業は、5月8日開催予定の50周年記念講演会・式典・祝賀会。秋には50周年記念建築士事務所キャンペーンの開催、最後に50周年記念誌（アプローチ39号）の発行。また対内事業としては、50周年記念の研修見学会、ポーリング大会、マージャン大会、ゴルフ大会などを記念イベントとして企画し、知識の研鑽及び会員相互の親睦と同好会の活性化に繋がっていきたくと考えています。

まずは、支部役員はもとより正会員・賛助会員の全会員で50周年記念講演会・式典・祝賀会を準備し、先人達が築いた50年の歴史と伝統に改めて感謝をし、そしてお招きした人々と共に心から50周年を祝い、更に次なる50年に向けて神戸支部の発展を誓うことができれば素晴らしい日になると思っています。どうか全ての会員の「YES WE CAN!!!」でご協力をお願いいたします。

最後になりますが、会員、会員企業にとり飛躍の年となる事を祈念し、神戸市役所の各関係機関並びに神戸市民の皆様方の一方ならぬご支援とご指導をお願いし、新年の挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

神戸市長 **矢田 立郎**

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2008年はサブプライムローンから端を発し、世界的金融経済危機に見舞われ、この対応は各国協調しての行動が求められています。さらに、食料価格の値上がりや株価の乱高下など生活への不安は募るばかりです。

そうした中で、神戸市は今年であの阪神・淡路大震災から丸14年を迎えます。市民のみなさまの、神戸のまちを何としても再興するのだという熱い思いで、今日の状況にいたりました。これは市民お一人お一人のお心に宿る、誇りとする神戸をよみがえらせようとする思いの結晶だと感じております。お一人お一人がくらしの豊かさを実感し、安心して元気に暮らせる「豊かな神戸の創造」に向けて、みなさまとともに歩んでいきたいと考えています。

今、神戸は新しい都市づくりとして、医療産業都市、文化創生都市、デザイン都市、観光交流都市などを掲げ歩み始めております。特に、昨年10月には、ユネスコの「創造都市ネットワーク」に「デザイン分野」での加盟がアジアで初めて認められました。「住み続けたいくなるまち、訪れたいくなるまち、発展するまち」を目指し、市民のみなさまとともに推進していきます。

また、昨年5月にはG8環境大臣会合が神戸で

開催され、気候変動・生物多様性・3Rの3つのテーマを中心に意見交換が行われ、市民・事業者・地域と連携した関連行事を実施することにより環境問題への関心が高まったことと思います。温室効果ガスの排出削減やごみの減量・資源化の推進のため、身近なところから環境活動に取り組む「エコタウン」まちづくりを推進し、今後とも、神戸の美しいまちを守り、子孫に引き継いでいけるような取り組みを進めていきます。

こうしたさまざまな取り組みを通じ、人材の集積、大学の集積、企業の集積、また神戸ピエンナーレ2009をはじめとする活動や、発表の場の創造を図り、神戸から世界に発信していく「知の拠点」をめざし、取り組みを続けています。

市民のみなさまが安全で安心して暮らせるまち神戸。人が集い、人が元気に活躍する個性あふれる神戸。

そんなまち神戸を、ともに創っていきましょう。その道筋を示す2011年からの基本計画の策定へ市民のみなさまのご意見をいただき、審議を進めていきます。ご協力をいただきますようお願いいたします。



## 新年ご挨拶

神戸市都市計画総局参事 浅野 高史

新年明けましておめでとうございます。

日ごろは、「新神戸市建築物安全安心実施計画」をはじめ、建築物に関わる安全で安心なまちづくりにご尽力ご協力いただき有難うございます。

本年も、専門家のみなさま方と一緒に、市民の皆さんが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本市では、平成11年度に建築関係団体及び関係機関の参画を得て、「神戸市建築物安全安心推進協議会」を設立し、安全で安心なすまい・まちづくりを促進するための総合的な実施計画である「神戸市建築物安全安心実施計画」(H11～15年度)及びそれに続く「新神戸市建築物安全安心実施計画」(H16～20年度)を策定し、完了検査の完全実施や違反建築物対策等に取り組んでまいりました。その結果、完了検査率については、平成10年度の44%から、平成19年度末には98.3%へと著しく向上させることが出来ました。また、違反件数も第1次計画期間平均で年間約150件という状況でしたが、第2次計画期間中現在年間約70件と半分以下にまで減少しております。

本年3月末には、現行の「新神戸市建築物安全安心実施計画」が期限を迎えることから、その評

価・検証を踏まえ、引き続き第3次計画(H21～25年度)を策定すべく作業を進めているところです。

第3次計画においては、「アスベスト問題」「カラオケボックス・個室ビデオ店火災」「自動回転ドアやエレベーター・エスカレーター事故」等、最近の建築物にかかる事件・事故等を受け、建築物が供給後も引き続き適正に維持・管理されることが重要であるという認識のもと、「定期報告制度を活用した既存建築物や昇降機等の適正な維持管理」「小規模な飲食ビル等の防災面からの指導強化」「耐震化の促進」など、ストック対策に施策の柱を置いた計画にしてまいりたいと考えています。

計画の策定及び推進にあたりましては、是非とも、専門家のみなさま方のお力添えをいただきますよう、この場をお借りしてお願いいたします。

最後になりましたが、みなさま方のますますのご健勝と兵庫県建築士事務所協会神戸支部のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 年頭にあたって

神戸市都市計画総局建築指導部長 傳 田 雅 明

新年あけましておめでとうございます。

平素より、本市の建築行政に格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

サブプライムローン問題を引き金とした米国発の金融不安は、日本、そして神戸の実体経済にも暗い影を落としています。建築基準法改正に伴う確認審査の大幅な停滞は、一時の深刻な状況は脱したものの、並行して改正建築士法が順次施行されており、建築士或いは建築士事務所を巡る状況は大きく変わろうとしています。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様におかれましても、少なからず戸惑われているのではないかとお察しいたします。

思い返しますと、この一連の制度改正は、平成17年のいわゆる耐震強度偽装事件に端を発したものであります。その後も、建築物に関連する事件・事故、トラブルが後を絶たず、市民の建築物の安全性に対する信頼感は大きく揺らいでおります。今こそ、建築に携わる者のすべてが信頼回復に取り組んでいかねばなりません。

こうした状況を受け、昨年7月「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例」が施行されました。この条例は、関係者がそれぞれの責務を果たしつつ相互に連携し、建築物の安全性の確保に総合的に取り組んでいこうとするものです。今後と

も、皆様のご理解・ご協力を得ながら、市民が安心して暮らしていくことができるまちを目指していきたいと考えております。

さて、神戸市は、昨年10月、ユネスコの「創造都市ネットワーク」の加盟が認定されました。今年「デザイン都市・神戸」の実現に向け、神戸らしい眺望景観の形成のための仕組みを構築するなど、その取り組みをさらに加速していく年であります。言うまでもなく、神戸は、六甲山系の山並み、海と港と市街地が一体となった景観や西北神地域の豊かな自然と田園集落の景観など、変化に富んだ眺望景観に恵まれており、これを次世代に引き継いでいかなければなりません。神戸のアイデンティティとも言うべき、このすばらしい眺望景観を大切にしながら、神戸の新しい魅力が創り出されるよう、皆様がその持てる力を大いに発揮されることが期待されております。

私たちを取り巻く環境には依然厳しいものがありますが、来るべき次の飛翔に備え、自らの力を蓄える時なのかも知れません。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様にとりまして、本年が良き一年となりますことを最後に祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課長 中川 佳 秀

新年あけましておめでとうございます。兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、日ごろ、神戸市建築行政に何かとご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、構造計算書偽装事件を背景として、平成19年6月の改正建築基準法の施行により、建築確認・検査の厳格化や構造計算適合性判定制度などが導入されましたが、施行後しばらくの間は、新しい制度への不慣れもあり、確認審査の停滞や確認件数の大幅な減少を招きました。こうした状況を改善するため、国、県、市は連携をとって、建築確認手続きの円滑化に向けた取組みを行ってきました。現在では、改正建築基準法の影響はかなり改善してきている状況にはありますが、景気後退の影響もあり、建築業界にとっては、厳しい状況が続いています。今後も建築士の資質や能力の向上、建築士事務所業務の適正化、建築物の安全性や建築士制度に対する国民の信頼を回復することを目的とした改正建築士法により、構造・設備設計一級建築士制度などが順次、施行される他、エレベーターの戸開走事故等を受けて、戸開走行保護装置や地震時管制運転装置の設置義務付けを規定した改正建築基準法施行令が施行される予定です。円滑な実施にご協力をお願いします。

また、昨年7月には、市民が安心して暮らすことができるよう、建築物の安全性の確保等を図る

ことを目的として「神戸市建築物の安全性の確保等に関する条例」を制定し、新たに建築基準関係規定に適合すると認める基準として「確認審査基準」を策定すると共に、従来、指定確認検査機関に対し、特定行政庁として実施してきた確認審査に対する立入検査以外に、市として指定確認検査機関の完了検査や中間検査に対する立会調査を実施し、不適切な検査業務を防止し、市民の安全安心の確保に努めています。

昨年、北海道洞爺湖サミットが開催され、地球温暖化やCO<sup>2</sup>排出量の削減が大きな課題となっています。神戸市では平成18年8月から、建築物の環境性能の他、耐震性能やバリアフリー性能なども併せて評価する「CASBEE神戸」(神戸市建築物総合環境評価制度)を運用してきました。平成20年度には神戸で初めて最上級の評価「Sクラス＝大変優れている」を得た建築物が完成しました。これを契機に、市内に高度環境配慮型建築物が増え、建築主や設計者の環境配慮が社会に評価され、より一層、市民に環境配慮を喚起し、持続可能な社会が実現できるよう、皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、本年も、兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様の、益々のご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新年を迎えて

神戸市住宅供給公社すまい・まちづくり本部長 倉橋正己

新年、あけましておめでとうございます。

兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様には、平素より「神戸市すまいの安心支援センター」(すまいるネット)の事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターは、すまいに関するあらゆる相談を受け、また、分かりやすい情報を提供するため「神戸市のすまいの総合窓口」として設立され、9年目を迎えております。

当センターの運営は、皆様のご協力で成り立っていると言っても過言ではありません。

当センターの根幹をなす相談業務では、貴支部から派遣された経験豊富な建築士による的確なアドバイスにより、市民から大いに感謝されています。

市民が安心できる建築士や工務店を紹介する「選定支援システム」でも貴支部から多くの事務所に登録いただき、市民の様々な依頼に応えていただいております。

また、すまいの耐震化も当センターの主要な業務となっています。

14年前の阪神・淡路大震災により直接的に亡くなられた方のうち、住宅・建築物の倒壊などによって亡くなられた方が約9割を占めることが明らかになっており、建築物の耐震化を促進することが強く求められています。昨年神戸市では、耐

震改修促進法の改正に伴い『神戸市耐震化促進計画』を策定し、「住宅」については、平成15年度時点の推計耐震化率84%を、27年度に95%への引き上げることを目指しております。

この目標達成には、耐震改修や建替え等により、約25,000戸の耐震化が必要と推計されており、建築士や工務店などの専門家、地域住民、行政が一体となって強力に取り組む必要があります。

現在、貴支部内に設けられた耐震委員会を中心に、「神戸市すまいの耐震診断員派遣事業」には最大限のご協力をいただいているところです。

さらに、新たに始めた、工業高校の生徒に対する木造住宅の耐震診断の指導もしていただいております。

本日に様々な事業にご協力賜り、厚くお礼申し上げます。

すまいの安全・安心をトータルサポートするため、当センターは今年も職員一同、がんばりますので、貴支部のさらなるご支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年も兵庫県建築士事務所協会神戸支部の皆様が、神戸のすまい・まちづくりでご活躍されますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

神戸支部副支部長 岡田 徹

新年あけましておめでとうございます。  
平素は(社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部の会員  
ならびに賛助会の皆様には、支部活動にご協力を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、平成8年に(社)兵庫県建築士事務所  
協会に入会してより、12年が経ちました。平成14  
年から2年間、副支部長をさせていただき、平成  
16年から4年間本部理事を経験させてもらい今  
年から、再度、副支部長として復帰いたしました。

近年、建築を取り巻く社会の状況が、めまぐる  
しく変貌しており、私共、建築士に求められるニー  
ズが多様化し、高度化しております。

このような状況において、耐震偽装事件より、  
建築士法、建築基準法等の見直しがあり、益々制  
度等が、多岐になり複雑化しています。一例です  
が、省エネ法の届出が2,000㎡から300㎡に下が  
りますが、私は、専用住宅にも近い将来、届けが  
必要になると思います。

昨年は、管理建築士資格取得のスタートの年で  
すし、今年は建築士資格制度見直しで定期講習が  
始まります。その他にも、高度な専門能力を必要  
とする一定の建築物の設計には構造設計一級建  
築士、設備設計一級建築士の関与が必要になりま  
す。建築主に対しては、設計・工事監理契約前に  
書面を交付して、重要事項の説明をする義務が生  
じます。その重要事項説明の書式が11月にICBA  
のHPで公開されていますので、ご注意下さい。

建築業界は不況と法改正のなか、最悪の状況で

す、さらに、昨年10月のアメリカから端を発し  
た金融不信、グローバル恐慌の影響で建築、不動  
産業界は、大手、中小係わらず、次々と倒産に追  
い込まれています。実はこの原稿を書いている最  
中に、私の古くからの友人が経営者をしていた会  
社が、潰れたと連絡が入ってきました、その会社  
は地元に着し、知恵を絞って、事業を徐々に拡  
大していたので、信じられない思いです。状況を  
好転させる方法がないまま、絶望感に支配された  
感じでした。

このような厳しい状況でも、(社)兵庫県建築士事  
務所協会神戸支部は他の支部の会員数が減ってい  
る中、なんとか、現状維持をしております。只、  
他団体と同じく、会員の高齢化、若い会員が少な  
い、入会が少ないという大きな問題を抱えていま  
す。このように厳しいなかで、(社)兵庫県建築士事  
務所協会神戸支部は今年、50周年の節目を迎え  
ます。本年度の様々な支部事業を通じて、今後の、  
支部の進む方向を真剣に考え、「ピンチはチャン  
ス」と捉え、今年度を再スタートするいい機会と  
考えます。

建築を志す若い人々が、この業界に夢を持てる  
ように、又、神戸に根ざした地域の安心安全に寄  
与できるように決意を新たにしております。(社)兵  
庫県建築士事務所協会神戸支部の会員、賛助会の  
皆様方には、さらなるご支援、ご指導、ご協力、  
ご助言、叱咤激励、を頂けますようお願い申し  
上げ、新年のご挨拶といたします。



## 年頭にあたり

神戸支部副支部長 竹中 郁雄

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成21年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

平素は(社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部事業に対し、会員、賛助会員はもとより、皆様から温かいご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年平成20年10大ニュースのトップは『アメリカ発の世界金融危機』。

年末に発表された平成20年を象徴する創作四字熟語は『暗増景気(クラサマスケーキ)』等々。平成20年の漢字は、政治や経済など変化の多かった一年を象徴する『変』。

サブプライムローン、リーマンショックから起ったアメリカ発の金融危機は、世界同時不況へと発展し、国内景気、雇用問題にも大きな影響を与えています。

建築業界は平成17年11月に明らかになった構造計算偽造問題から3年が経過。

平成18年6月の建築基準法一部改正、平成18年12月の建築士法等一部改正を経て、平成20年11月28日に改正建築士法が施行されました。

建築士の資質・能力の向上が求められ、建築士事務所に所属する建築士に3年ごとの定期講習受講が義務付けられ、構造設計、設備設計一級建築士制度が創設されました。設計・工事監理業務の適正化、消費者への情報開示が叫ばれ、管理建築士要件が強化されて、資格取得講習、重要事項説明の義務付け制度がスタートしました。

我々建築士事務所協会は平成21年1月5日より法定団体となり、苦情解決業務、研修など、自立的な監督体制の確立が求められています。

昨年から拝命した(社)兵庫県建築士事務所協会の教育情報部長として、これらの法改正の最前線で情報提供、講習会、研修会開催のお手伝いをさせて頂きましたが、我々は建築士、建築士事務所を取り巻く激変と未曾有の構造不況の中、市民の信頼を回復しつつ、事務所を維持、発展させていか

なければなりません。

その為には、個々の建築士や事務所の研鑽努力ももちろん必要ですが、それだけでは、生き残れない時代に来ているのでは無いでしょうか！？

責任はどんどん重くなりますが、人の命を預かる職業として、その重責を担う一方、情報を共有し、互いに助け合い、協力し合い、見直しが行われた業務報酬基準(告示1206号)により、適正な業務報酬を得られる様、協会一丸となって推進していかなければならないと考えています。

また、事務所協会神戸支部耐震委員会は「神戸市耐震改修促進計画」の下、耐震診断業務、耐震化促進業務において全力で協力してまいりました。そして昨年は神戸市・天津市友好都市締結35周年記念事業で、中国天津市に於いて「耐震化セミナー」の機会を持たせて頂きました。

阪神大震災を経験した神戸市と事務所協会神戸支部耐震委員会の協働体制を天津市の皆様にも少しでも理解していただければ幸いです。

昨年に引き続き、兵庫県立工業高校建築科生徒への耐震診断実習も行わせて頂きました。一昨年は工業高校で実習する事だけで意義が有りましたが、平成20年度は、もう一歩進んで、将来を担う高校生に耐震診断を出来るだけ理解してもらえ様、工夫を重ねて実習させて頂きました。

すまいるネットの相談員としては、まだまだ勉強が必要と痛感させられる毎日です。

さて、神戸支部は今年、創立50周年を迎え、山本支部長の下、50周年記念事業として式典、講演会、祝賀会等々開催を予定しております。

この大不況を吹き飛ばし、会員、賛助会員、皆様共々、盛大にお祝いをしたいと企画しておりますので、御協力、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

神戸市と皆様にとりまして、この新しい年がより良き年でありますよう、心から祈念いたしまして、私からの新春のご挨拶とさせていただきます。



## 新年ご挨拶

神戸支部副支部長 迫水 和裕

新年あけましておめでとうございます。

神戸支部会員、賛助会の皆様におかれましては今年こそ変化の年でありますようにとの願いを胸に新年をお迎えになったとご推察いたします。

昨年の建築業界は一昨年の建築基準法・建築士法改正による弊害もあまり改善されず、米国発経済不況の影響もあり散々の一年でした。去る11月28日に施行された建築士法もどのような効果があるかまだまだ見えない状況です。特に設備・構造設計一級建築士制度は実施が5月27日以降ということもあり、運用とその実効性が見えてきません。法定団体になった今、信頼性確立に向けて内には自律を、業務改善のために他団体と連帯し、外にはもの言える団体でありたいと思います。

また神戸支部は今年大きな節目である創立50周年を迎えます。5月には記念式典・祝賀会が予定され、記念行事もいろいろ企画されています。先輩達が築いた歴史を振り返り感謝するとともに次の50年に向けて心新たに出発の年にしたいと思います。ご参加、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。





# 神戸市・天津市 耐震化セミナー報告

—神戸市・天津市友好都市提携35周年記念訪問事業に参加して—



神戸支部長 山本 康一郎

神戸支部を代表して3名は、神戸市・天津市友好都市提携35周年記念訪問事業に参加し、耐震化セミナーを天津市で開催してまいりました。その事業報告と次年度は50周年事業として、改めて天津市を訪問し、視察研修並びに情報交換を図りたいと考えていますのでご一読をお願いいたします。

## ■ 耐震化セミナー開催の経緯

2009年は神戸支部創立50周年を迎えるにあたり、記念事業として阪神・淡路大震災以降蓄えてきた、耐震診断・耐震改修に関する経験・ノウハウを有効に活用できないかと考えていました。

中国では2008年5月12日にマグニチュード7.9にもおよぶ世界最大級の内陸型地震が四川省地方で起りました。この四川大地震により約500万人が家を失い、死者・行方不明者が8万7000人を超える大災害となり、阪神・淡路大震災の10倍以上の被害が生じています。また、子供たちが学校で活動する時間帯での地震発生であり、安全に学び、人を育てるための学校建築物が倒壊することによって、建物が凶器となり、多くの尊

い子供たちの命を奪いました。

この事実から、今後中国の各地域で耐震化の取り組みが進むのではと思い、神戸市の友好都市でもある天津市における耐震診断・耐震改修の推進のお役に立つのではないかと考え、神戸市防災安全公社の鈴木副理事長に相談にのっていただきました。そして対応を快く引き受けていただき、神戸市の天津事務所に取り次いでいただきました。

一方、おりしも2008年は神戸市・天津市友好都市提携35周年記念の節目の年に当たりました。神戸市では、神戸空港からのオウンユースチャーター機により交流事業を実施し、両都市間の友好交流の更なる促進を図る趣旨での訪問事業の企画があり、そのご案内をいただきました。そして、支部事業として参画することの理事会承認をいただき、竹中副支部長、瀬戸本特別事業担当理事、山本の3名が訪問団に参加することになりました。

また、天津市では1976年の唐山地震に於いて2万人以上の死者を出しており、両市とも地震被災地としての経験を持つことから重要な交流事業として位置づけられた「耐震化セミナー」を開催することになりました。

急遽、発表内容の準備を都市計画総局総務部耐震化促進室と神戸支部の共同で取り組むことになり、数回の打ち合わせを経て、我々の発表のテーマを『阪神淡路大震災と神戸市の耐震化への取り組み』としました。技術的な耐震設計・耐震化工法などは将来の技術交流につなぐとして、公共と民間が協働して耐震化を促進し、今後発生が予想される地震等からまずは命を守る取り組みを紹介し、理解をしてもらうことに主眼を置き、中国語バージョンのパワーポイント画像と手元資料を用意しました。

## ■ 耐震化セミナー

耐震化セミナーは9月6日14:30から天津ルネッサンスホテルにて開催いたしました。我々セミナー班は、午後から会場での準備と、通訳嬢との打ち合わせを行い緊張するなか本番を迎えました。



両市の司会者の挨拶に引き続き、四川大地震でお亡くなりになった方々への追悼の意を表す黙祷をささげ、続いて、熊建平天津副市長並びの矢田立郎神戸市長の挨拶をいただきました。両氏の挨拶からは「近年大規模な地震が多発するなかで、建築物の耐震化は震災対策として重要であり、両市がこの耐震化の情報を交換し、共有することは大きな意義があり、両市とも災害に強い都市づくりを推進するうえにおいて本日の耐震セミナーが有意義である。」旨のお言葉をいただきました。今回の耐震化セミナーが、両市間の親善から直面する共通課題について解決策を模索する国際交流へ、踏み出す重要かつ意義あるものと改めて思った次第であります。

最初の神戸市発表者は、都市計画総局総務部耐震化促進室の鳥田室長からのよるもので、主に次の内容を紹介しました。

- ①阪神・淡路大震災規模と被害の状況
- ②復旧、復興への取り組み経緯と現在の状況
  - 仮設住宅の提供から恒久住宅の供給
  - まちの復興・道路の整備など
- ③耐震促進計画の概要
  - 神戸市耐震改修計画の策定
  - 民間住宅耐震化への支援など

つづいての発表者は、山本から神戸市の特長である官と民が同じ目標を目指して耐震化事業に取り組む“公共と民間の協働体制”を紹介しました。

- ①市民が安心して受診できる無料耐震診断の実施
- ②市民が安心して耐震化に関して相談を行える機関の設立
- ③耐震改修工事を安心して頼める組織の設立

また、耐震診断の受け皿としての建築士事務所協会神戸支部の役割と今後の交流についての希望等を付け加えました。

最後に竹中副支部長から戸建住宅耐震診断の概要を紹介し、耐震改修工事実施による効果についてEデフェンスによる実験状況のビデオをご覧いただき、また耐震改修補強事例によった効果についても解りやすく説明しました。また、学校建築の耐震化への取り組みを報告し、その主なポイントは、

- 災害時の避難所にも位置づけられていること
- 耐震性が不足しているものは、スライドのように順次補強を行っていること

などを報告とし、耐震化の重要性を強調して神戸市からの発表を終えました。

天津市からの報告は、天津市建築設計院の宋(Song Che/Vice Chief Engineer)様から天津市の唐山地震以降の耐震化への過程について説明を聞き、中国の耐震化への進み具合の一端を理解することが出来ました。

報告の中で、震度8に対応した耐震設計によって工事が施工されている。また、現場検査も厳しくなり安全性が高まった旨の説明がありました。しかし、市中での工事現場を垣間見たなかではなはだ疑問に思い、帰国後、中国の震度階を確かめたところ12階級に区分されておりました。日本の震度階との比較は一様ではないが、日本の震度6を下回るのではと分り納得した次第であります。(中国地震烈度表によると 震度階Ⅶ~Ⅷ 大部分の家屋が破壊され、工場の高い煙突には割れ目が出来る。少人数の人畜が死傷する。)



### 《天津市の主な発表内容》

#### 天津市抗震設防情況

一、天津場地狀況（天津市概況、地盤の説明）

二、天津地震歴史情況（天津での地震の歴史）

三、唐山地震時天津震損情況

（唐山地震時での天津の被害状況）

四、天津市抗震設防情況

（天津市における耐震性の考え方）

五、鋼筋混凝土結構

（鉄筋コンクリート構造の考え方）

六、多、高層鋼結構（高層鉄骨構造の考え方）

七、抗震設計及抗震審査情況

（耐震設計と耐震審査の状況）

（天津市の報告書をご覧になりたい方はお問い合わせ下さい）

### ■ 支部創立50周年記念事業として訪問

天津市における建築事務所の団体との交流は、現時点では全くもって未定ですが神戸市の天津事務所を通じ、今後とも努力していきます。

今回の訪問団に参加して思うことは、中国は人が多し、国土は広い、そして発展する余地は、限りなくあるように感じます。また、日本とは、建設工事の工法も違うであろうし、大きな国土で

ある以上、建設資材の流通なども異なることと思います。しかし、中国の建設環境に注目することで、我々にも参考になることが沢山あると思います。よって、50周年記念事業として天津・北京が研修地になれば、多くの方に参加をしてもらい、研鑽を深めたいと願っています。もちろん観光もします。また、おいしい中国料理と白酒で乾杯を繰り返して日中親善も大いに図ります。

### ■ 番外編 天津市政府幹部表敬

矢田市長を団長にした神戸市からの216名の訪問団が天津市を訪れたが、その神戸側代表団29名は天津市長、天津市人民代表大会副主任をはじめとする政府幹部要人へ表敬訪問を行いました。訪問先は天津市迎賓館 迎賓庁 日本で言うなら総理官邸級の豪華な建物が〇〇離宮に建っているといったイメージであります。内部は大理石がふんだんに使われ、重厚かつゆったり、調度品も立派。我々が通され大応接室は、高級ホテルをはるかに超えた豊かな空間であり両市長の挨拶や記念品の交換セレモニーがあったにもかかわらず、ただキョロキョロするばかりであり、急に外交官がどこかの偉い人になったような気分を味わせていただきました。

### 中国のお国柄事情

- 天津市幹部の車両が先導して公式行事参加の時、信号はすべて青。  
交差点では、警察官による交通整理を行ってかれている。まさしくVIP待遇の扱いに感動。しかし、国家権力の構造の違いを見せ付けられた思い。
- 天津市は中央政府の直轄市にあたり、いわゆる地方政府の扱いであり党委員会の指導のもとで共産党の独裁体制がしかれている。とりあえず、民主主義の日本に生まれてよかったと思う。
- セミナー開会の直前に偉い人の指示により、突然、会場レイアウトの変更。  
中国スタッフご苦労様です。
- 我々が用意したセミナー資料は、コピー用紙にモロクロ印刷のホッチキス止め。天津市から戴

いた資料は、北京オリンピックサッカー会場になった天津スタジアムの写真をハードカバーで製本した立派な代物。近年の経済成長率の差を見せ付けられた思いがした。

### 最後に

今回の神戸市・天津市友好都市提携35周年記念訪問事業に参加させていただき、私にとって数多くの貴重な経験をさせていただきました。また、耐震化セミナーを仕切っていただき、資料作成等に大変ご尽力いただいた都市計画総局の鳥田 政明室長様、我々を代表団に加えていただいき耐震化セミナーを立案していただいた産業振興局の大崎 秀文参事様をはじめ、多くの関係各位に対しましてこの紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

神戸新聞
2008年5月10日

## 神戸と中国・天津、友好都市提携35年

**親善から課題解決型へ**

【交流の足跡】

1973年6月	天津市内で友好都市提携を締結。天津は最初の相手との提携は初
78年3月	神戸市・天津市友好都市提携委員会発足
80年9月	神戸市・天津市友好都市提携訪問団
82年2月	天津からレクチャーハンダなどを神戸に寄贈
85年9月	神戸市外国語大学と天津外語学院が学術交流協定。学名、教員交換協定
85年9月	神戸市と天津経済協力
88年9月	神戸市と天津経済協力(90年秋)
92年5月	全結集(きんしこう)を借り受け、王子製紙(株)と共同で神戸市に工場建設
88年2月	阪神・淡路大震災の実態として実用車用のトラックやバスなどの輸送機材453台の寄贈を受ける
2002年10月	経済協力・製造分野などの人材、技術、情報交流の協力のための訪問団派遣
08年5月	神戸市・天津市友好都市提携35周年記念訪問事業

「脚を越す事業」

神戸市と天津市の友好都市提携35周年を記念し、神戸市を代表とする216人の訪問団が今月8日に訪中。環境保護や防災、観光などの分野での相互協力強化を約束した友好都市宣言書に署名した。一方で、交流事業としては初めて、環境や防災技術に関するセミナーを開き、両氏が持つ経験や知識、最新技術を見直し交換した。人的交流がメインの「友好型」から、内容的に異なる共通課題についての解の策を構築する「課題解決型」の国際交流へ、転換を図る両市の取り組みを取材した。(社会部・藤原 学)

**環境・防災で初のセミナーも開催**

【交流の足跡】

1973年6月 天津市内で友好都市提携を締結。天津は最初の相手との提携は初

78年3月 神戸市・天津市友好都市提携委員会発足

80年9月 神戸市・天津市友好都市提携訪問団

82年2月 天津からレクチャーハンダなどを神戸に寄贈

85年9月 神戸市外国語大学と天津外語学院が学術交流協定。学名、教員交換協定

85年9月 神戸市と天津経済協力

88年9月 神戸市と天津経済協力(90年秋)

92年5月 全結集(きんしこう)を借り受け、王子製紙(株)と共同で神戸市に工場建設

88年2月 阪神・淡路大震災の実態として実用車用のトラックやバスなどの輸送機材453台の寄贈を受ける

2002年10月 経済協力・製造分野などの人材、技術、情報交流の協力のための訪問団派遣

08年5月 神戸市・天津市友好都市提携35周年記念訪問事業

APPROACH No.38



神戸市・天津市友好都市提携35周年

記念訪問団

瀬戸本 淳

9月5日(金)から9月8日(月)まで220名程の訪問団に参加し、天津市と北京市に行ってきました。

9月5日



天津市の濱海国際空港に到着、私の愛犬と同じビーグルがけなげに荷物チェックの仕事をこなしていました。ビーグルは、においに敏感なので（食いしん坊なので）、ニューヨーク空港や関空でも食べ物チェックのために働いています。たいしたものです。



昔は白河、現在は海河と呼ばれている川を船でめぐりました。この先の天津新港は中国で最大規模の港です。



空港で天津市からのお出迎え。矢田市長のお礼の言葉。



古文化街をみんなで散歩。この地は日本租界のあったところから少し北側の、古い中国人街になります。天津十景の一つに数えられ、長さ700mにわたり、楽しいお店が数多くならんでいます。

9月6日



ルネッサンス天津ホテルの近くを散歩。ホテルの場所は、昔あったイギリスとアメリカ、そしてドイツの租界のちょうど境界線あたりでしょうか。



シェラトンホテルの宴会場での天津市主催による歓迎レセプション。中国の美しい音楽を奏でながら歓迎の意を表して下さいました。いつもウーファンの古箏を聴いているので、知っている曲があり、うれしく感じました。



大きな通りを一步入ると、路地裏の庶民の生活が息づいています。



神戸市混声合唱団によるお礼の歌。





天津市の文化財である石家大院を見学。昔のお金持ちのお家で、博物館になっています。右下の白いものは馬をつなぐところ。小さな生活模型を見てそれがわかりました。



娘のベッド



結婚の行列。花嫁の乗る花カゴ。楽隊の数が富の大きさを象徴しています。



“福”は幸せを呼ぶ大事な文字。



教室だそうです。



庶民の暮らしぶりがうかがえます。





ルネッサンス天津ホテルにて、2つの交流事業のひとつ、耐震化セミナーに参加。神戸市産業振興局中国アジア経済課長の小森さんの司会により、はじまりました。



天津市の熊建平副市長のごあいさつ。  
「共に学び合って防災力を高めていくのに寄与する有意義なセミナーです。耐震性を高めることは、人の命を守るためにとても大事なことです。神戸市は技術を高め、すばらしい街づくりをしてきました。四川地震では神戸からもかけつけて下さった救助隊の皆様へ感動を覚えました。互いに耐震の面でも、もっと高い発展をさせてゆきましょう。」



矢田市長のごあいさつ  
「1973年に日中で最初の友好提携をしてから市民レベルの交流が進んでいます。このセミナーの開催を喜ばしく思っています。5月12日、8月30日の四川の大地震に対しまして、深く哀悼の意を表します。おかげさまで神戸も順調に復興しつつありますが、産業面についてはまだ途上であり、心のケアも勤めているところです。耐震改修は目標をかがけて無料の診断や補助制度で広めているところです。この交流を通じて両市が災害に強い市になれば幸いです。」



神戸市の都市計画総局耐震化促進室長の鳥田さんより、神戸市の耐震化促進事業の状況報告。



兵庫県建築士事務所協会神戸支部長の山本さんより、事務所協会とその取り組みの説明。



副支部長の竹中さんより、木造住宅の改修と学校の改修事例の報告。竹中さんの説明が上手なので、中国側の60名くらいの方々は身を乗り出すようにして、真剣にスライドをながめていました。特にEディフェンスでの実験の様子は思わず声があがり、大いに興味をもって下さったようでした。



天津市建築設計院の宋さんより、天津市での「抗震設防」状況をお聞きしました。





セミナーは通訳の役割が大きいと思います。彼女はとても知的で（チャタリングで）、おかげさまでレベルの高い魅力的なセミナーになりました。謝謝！（新潟で地震を経験しているので、ご本人もこのセミナーに大いに興味をもっていたようです…）



夜は、神戸市主催の交流会がルネッサンス天津ホテルで催されました。皆様のあいさつについて、神戸市混声合唱団によるすばらしいコーラスで交流がはじまりました。



おながが少しいたので、伊田さんに連れられて4人で四川の鍋料理を食べにきました。伊田さんの現地の会社の方も2名参加され、にぎやかにいただきました。辛かったのですが、本当においしくて感動しました。お酒も最高でした。

9月7日



北京の天安門広場。100万人入ったことがある(?)ぐらい広い。中国のガイドさんが言うには毎日3,000人ぐらいで警備をするとのこと。



続きの故宮博物院（かつて紫禁城と呼ばれた明・清時代の宮殿）を見学。中国映画で見たことのある風景が広がっていました。1947年、皇帝溥儀の退去に伴って故宮博物館と名づけ、歴代皇帝の収集文物を管理。シンメトリーの建物が1.2kmにわたって続くのはさすがに神経が疲れました。

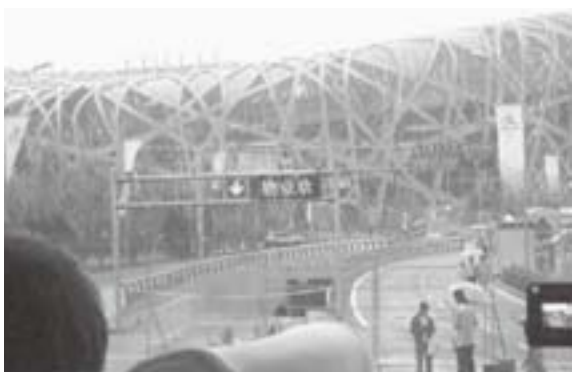


昼食のレストランの近くでオランダのOMAが設計したCCTV（中国中央電視台、高さ234m）を発見。まだ工事中のようでした。丸い塔の建築が邪魔をして全体が見えません。斜めの線も含めてストッキングのような表皮は完成しているようです。



万里の長城を少し登りました。周の時代から北方の異民族侵入を防ぐ目的でつくられ、後に秦の始皇帝が連結して東西6000kmの長城に。それでも簡単に乗り越えられて攻め入られたのは、労力と時間を考えると、役に立たない例として悲しくなります。通称女坂と呼ばれるやさしい方を歩いたのですが、市長がいちばん遠くまで元気に歩かれました。45年ぐらい前に父がこの地を訪れた時の写真を見ると、もっと廃墟のようでした。改修されて現在は世界遺産の中でも人気の場所になっています。

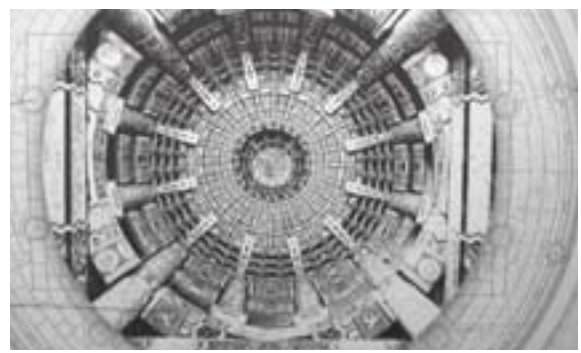
9月8日



ヘルツォーク&ド・ムーロン設計の鳥の巣(国家体育館)をバスの窓から眺めました。パラリンピックの聖火が屋根の上で元気よく燃えているのが印象的でした。



北京の天壇公園を訪れました。月曜日朝、市民が大勢楽しそうに遊んでいました。207.5㎡の広さは故宮の4倍。とにかく広いです。



公園の中の祈年殿。皇帝が正月に五穀豊穡を祈った場所。3重に見えますが中は平屋です。

以上で旅は終わりました。天津濱海国際空港から神戸空港までANAのチャーター便で帰りました。出発の時と同様に鶴崎副市長や商工会議所の中西専務理事、計谷理事・事務局長、皆様のお出迎えを受け、感激いたしました。ほんとうにありがとうございました。また同行の皆様にもいろいろお世話になり、貴重な体験ができたことに対して心より感謝いたしております。

## 事業経過報告

### 1. 平成20年度 新年互礼会

日 時：平成20年1月10日  
 場 所：中央区磯上通「西村屋 和味旬彩」  
 内 容：神戸市建築行政幹部と神戸支部との  
 交流と意見交換会  
 協 力：神戸市。神戸市都市計画総局  
 参加者：64名



### 2. 第25回 親睦ボウリング大会

日 時：平成20年2月2日  
 場 所：ラウンドワン三宮駅前店  
 内 容：会員並びに賛助会員との親睦  
 参加者：会 員 40名  
 賛助会員 10名

### 3. KOBE住宅フェア

(新築・増改築・リフォーム相談会)  
 日 時：平成20年3月22日・23日  
 場 所：神戸ファッションマート1Fアトリ  
 ウムプラザ  
 内 容：新築、増改築、リフォームの「安心」  
 「安全」「信頼」できる業者選びをテー  
 マとした合同展示商談会  
 主 催：神戸ファッションマートリテールテ

ナント会

共 催：(中)日本増改築産業協会近畿支部  
 (ジェルコ)

### 4. 2008INAX新商品&リフォームフェア・摂津 峡桜まつり散策

日 時：平成20年4月12日  
 場 所：インテックス大阪  
 内 容：新製品の知識取得

### 5. 平成20年度 第49回 神戸支部定時総会

日 時：平成20年4月24日  
 場 所：ラッセホール5階ハイビスカス  
 内 容：1. 平成19年度 事業報告  
 2. 平成19年度 収支決算並びに  
 監査報告  
 3. 平成19年度 事業計画案  
 4. 平成19年度 収支予算案  
 5. 平成20・21年度 役員選考及  
 び承認を求める件

基調講演：神戸市住宅供給公社 理事(すま  
 い・まちづくり本部長) 倉橋正己



### 6. 第1回 法規講習会

日 時：平成20年5月8日  
 場 所：兵庫県私学会館4階大ホール

内 容：①「建築物の安全性の確保等に関する条例及び確認審査基準等について」

②「建築確認手続の円滑化に向けて」

③「神戸市消防用設備等技術基準の改定 及び 消防法令の改正について」

④「その他」

講 師：神戸市職員

共 催：(社)兵庫県建築士会神戸支部研修委員会  
(社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部研修部

#### 7. 大阪ガスフェア「リビングシステムフェア2008」と水都OSAKAプロジェクト「ほたるまち」散策

日 時：平成20年5月22日

場 所：インテックス大阪・水都OSAKAプロジェクト散策

内 容：大阪ガスフェア「リビングシステムフェア2008」研修

水都OSAKAプロジェクト「ほたるまち」散策

国立国際美術館、旭放送新社屋見学

参加者：35名

#### 8. 第2回法規講習会

日 時：平成20年8月8日

場 所：兵庫県私学会館4階大ホール

内 容：①「最近の建築基準法改正の動向」

②「住宅瑕疵担保履行法の概要」

③管理建築士講習会について

④その他

講 師：日本ERI職員 事務所協会神戸支部会員

共 催：(社)兵庫県建築設計事務所協会神戸支部  
(社)兵庫県建築士会 神戸支部

#### 9. 県立兵庫工業高校 耐震診断実習

日 時：平成20年9月12日・22日

場 所：兵庫工業高校学校周辺

内 容：耐震実習授業

主 催：神戸市すまいの安心支援センター

#### 10. 神戸・阪神支部合同視察研修旅行

日 時：平成20年9月19・20日

場 所：飛驒高山

内 容：賛助会製品の知識の取得・他支部との交流

共 催：阪神支部

#### 11. 社支部との交流会

日 時：平成20年10月16日

場 所：三木市ながさわ三木店

内 容：他支部との交流

共 催：社支部

#### 12. 第3回法規講習会

日 時：平成20年10月20日

場 所：兵庫県私学会館3階

内 容：①「神戸市消防用設備等技術基準の一部改正について」

②「建築行政に関する最近の動向について」

③「神戸市景観形成指定建築物等誘導基準について」

講 師：神戸市職員

共 催：(社)兵庫県建築設計事務所協会神戸支部  
(社)兵庫県建築士会 神戸支部

#### 13. 工事現場見学会他・合同地区別連絡協議会

日 時：平成20年11月28日

内 容：第1部 超高層マンション「ジークレフ新神戸タワー」工事現場見学会  
第2部 賛助会による商品の説明による勉強会、意見交換会

場 所：すまいるネットセミナールーム

第3部 合同地区別連絡協議会

会 場：「つねさ」



## INAX研修見学会★親睦花見散策会

日時：平成20年4月12日(土)

神戸支部事業部 川崎 史



去る4月12日(土)、INAX様のご協力により、インテックス大阪での研修見学、奈良公園散策を行いました。お天気にも恵まれ、神戸支部の参加者・正会員38名、賛助会員2名は、三宮を9:00過ぎに出発しました。

INAXフェア研修では、【結ぶ】と題して、住まいと空間をINAX新商品で結ぶことにより、上質で快適な暮らしを届けようと言うものです。特にお風呂については、手間なし簡単お風呂掃除「きれい床」の号外！が…。特殊な表面処理で汚れが落ちやすく、スポンジでこするだけで、溝の奥ま

できれいに。また、お風呂のドアも下部のガラリをなくすことによりほこりも溜まりにくく、かびやすいパッキンもなくなり、本当に手入れが楽になっています。おまけに床はサーモフロア機能、水はけ性能も備えてあります。去年、研修した排水口のゴミがきれいにとれる「くるりんポイ」とあわせて利用すると、上質で快適を兼ね備えたバスルームになります。主婦にとっては、大助かりです。またこのほかにも、リフォームコーナーもあり、もちつき大会やスタンプラリー、クイズと大盛況でした。

昼食をとり、阪奈道路を経て奈良公園へ。はじめに、東大寺を見学、大仏様の大きさは何度見ても圧倒されます。柱に空いた穴は大仏の鼻の穴と同じ大きさで、通り抜けると賢くなるとか…。実は、大仏の中は空洞になっており、その昔、大仏の眼が体の中に落ちてしまった時に、賢明な少年が、その落ちた眼から中に入り内側から眼を元通りにしたのはよいが、どこから外へ出ると考えた末に、鼻の穴から出たとか…。そこで、鼻の穴を通ると賢くなると言ういい伝えになったそうで







す。公園では、さくらも終盤を迎える中、近畿地方最後の花見ができる場所とあって、奈良公園は、鹿と共に賑わっていました。

その後、それぞれ分かれて自由行動へ。私は、「天平の甕」唐招提寺金堂の平成の大修理現場を見学に行きました。2年間に及ぶ建物調査と2000年より10年間に及ぶ大修理です。金堂をすっぽりと覆った素屋根の中に入り、周囲の足場を登り屋根の軒下近くまで到着、そろそろ素屋根の解体工事が始まるということで、間近で大屋根を見上げるのは最後の機会となります。その大屋根の壮大さ、隅鬼と呼ばれる四隅の軒下に施された彫刻、大屋根を飾る新調された巨大な鴟尾(しび)、一万本の丸瓦と、二万九千枚の平瓦等を見学する事ができて、大いに感激いたしました。その後は、解体撤去された貴重な瓦や骨組、さらに1200年の風雪に耐え抜いた鴟尾等が保管されている倉庫へ案内され、そこは、今回の修理を忠実に再現した模型、あらゆる彫刻や模様を再現させる作業場でした。中は、ほこりが入らないように、透明のシートで覆われており、丁寧に手作業で写し出さ

れた作品が保存されており、大変な苦勞の跡が、感じられました。

関係者の方々貴重な体験をさせて頂きまして、ありがとうございました。

このように、仏像の保存や修理に始まり、2009年8月の落慶法会まであと1年程になりました。どうぞ平成の大修理が滞りなく、円成いたしますことを心より祈っております。

そして、一行は、午後5:50ようやく帰路につきました。



# K O B E

新築・増改築・  
リフォームの相談会

# 住 宅 フ ェ ア

日時：平成20年3月22日(土)～23日(日)



## 兵庫県立兵庫工業高等学校 耐震診断実習 08

(社)兵庫県建築士事務所協会 神戸支部耐震委員会  
一級建築士事務所 ブラーマ190 竹中郁雄

「昨年に引き続き、今年も兵庫県立兵庫工業高等学校建築科の生徒へ耐震診断実習をお願いします」

平成20年春、“すまいるネット”生田耐震支援係長から依頼された時は、昨年の経験もあったので、軽い気持ちで了承させて頂きました。

工業高校の生徒さんが耐震診断の実習をするのは全国的にも珍しいそうですが、5月20日に兵庫工業高校での今年度授業方針打合せで、軽い気持ちではとても講義が出来ないことを痛感しました。

岩佐建築科長は、「基本的には昨年同様、すまいるネット、事務所協会神戸支部の協力の下、兵庫工業高校の生徒に耐震診断講義及び実習を実施して欲しい。」と切り出されましたが、そこから先生の講義、実習への熱い御要望が始まりました。

### 実施工程

8月中 事前調査診断実施

8月末 講義、実習資料作成提出

9月8日(月) 講義 生徒27名 講師2名

9月12日(金) 実習1 生徒14名 診断員4名

9月22日(月) 実習2 生徒13名 診断員4名

9月29日(月) 予備日

講義、実習はいずれも

3時間目(10:45~11:35)

4時間目(11:45~12:35)を通して行う。

先生の御要望は、

- ①昨年度は、まず実施する事に意義があったが、今年度はもっと中身を充実させたい。
  - ②耐震診断から改修や新築計画までを見据え、「何の為に耐震診断を学ぶか？」の全体像を押えながら、講義や現場調査実習でのポイントを講義、実習して欲しい。
  - ③生徒の講義内容の理解度を常に念頭に置いて講義、実習を進めて欲しい。
  - ④大事なポイントは明確に！メリハリを持って講義して欲しい。
  - ⑤( )を埋める様な形式を採用し、生徒たちも考えながら受講出来るような授業、実習にして欲しい。
  - ⑥生徒に充実感を持たせたい。
  - ⑦生徒には講義、実習終了後、昨年の様な感想では無く、考察をまとめさせたい。
- さあ困った！ 迫水副支部長と二人、頭を抱えました。



教職を本業としておられる方でも日々悩んでおられる様な、教育の本質に関わる様な難題を課せられました。

しかも授業時間は講義時間が50分+50分。

同様の講義を今年7月、社会人の建築士向けに行った際の時間が120分+90分！専門家向けの講義時間の半分以下です。

いかにポイントを押さえるか！？

どうすれば判りやすいか？

岩佐建築科長のアドバイスは、資料の

ビジュアル化とメリハリでした。

資料作成で、出来るだけ実際の建物写真を使い、イラストを使い、明朝体に太ゴシックを使い、とにかく判りやすい資料作成に勤めました。

また、時間の関係からも、受講者が工業高校の生徒さんである事からも、講義の内容を必要最小限の基本事項に絞る事にしました。

最終的に、第1回講義予定の9月8日が中国天津市交流「耐震化セミナー」の日と重なり、9月12日(金)講義、9月22日(月)実習1回目、9月29日(月)実習2回目という日程となりました。

さあ、いよいよ講義です。確かに写真やイラストを使うと、難しい公式や、文字ばかりの表を見る時と違い、生徒の皆さんの目が輝いています。やはり取っ付きやすいのか、興味を持って講義を受けて頂けたように思います。

講義終了後に、すまいるネット大塚センター長より、昨年より格段に良い講義だったとお褒めの言葉を頂きました。昨年はそんなに酷かったのかな！？

次に実習打合せです。昨年に引き続き、地元の防災福祉コミュニティ会長様が、何軒か診断候補建物を挙げて下さいました。そのうち1軒は作業場などに使われていた為、床や天井が無く、その分、構造体がむき出しになっているため、構造勉強会には最適なのですが、一般の住宅の様に床や天井で隠れている構造体をどう調査診断するかという実習ができない為、候補からはずしました。昨年も、普段見たことが無いようで、天井裏、床下を覗いただけで感動していた生徒さんがたくさんおられました。

2班に分かれて実習予定の為、診断対象家屋を2軒準備する予定でしたが、適当な物件が無く、最終的には、昨年も実習させて頂いた2戸1棟の空屋を2班で時間差を設けて調査させて頂くことになりました。実際に住んで居られるお宅での、ヒアリングによる調査も勉強になるのですが、学校からの距離も限定される為、仕方ありませんで



した。

ということで、今度は「狭い建物を2班が重ならない様に！」と言う条件も課せられました。

やはり、実習での一番の見所は天井裏調査、床下調査です。天井裏で建物の骨組み、軸組み仕様の調査、床下で基礎構造の確認。生徒の皆さんの感嘆の声が上がります。

空欄穴埋め式のチェックシートも何とか埋まっていた様です。

幸い、昨年のように講義と実習の間に夏休みを挟むことなく、講義の記憶が薄れない間に、続けて実習出来る今年の日程は、生徒の皆さんにとっても良かったと思います。

生徒さんの感想は別紙を見て頂くとして、私の感想は、やはりまず、もう少し時間が欲しい。講義の時間もそうですが、何より、実習建物については、生きた住宅を数多く見ていただきたい。百聞は一見に如かず！

兵庫工業高等学校建築科受講生が、この診断実習によって得た知識と経験を、これからの勉強に、将来建築業界での実践に、少しでも役立てて頂ければ幸いです。

県工建築科の皆さん、頑張ってください！

最後になりましたが、この実習実施に御尽力頂きました兵庫県立兵庫工業高等学校の先生方、神戸市すまいるの安心支援センターの皆様、診断建物を提供頂きました家主様、地元の防災福祉コミュニティ会長様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 先生の感想…

耐震診断から学ぶ

1995年の阪神・淡路大震災から13年が過ぎ、地震により倒壊した建物や肉親を失った方々の悲しみの情景が未だ脳裏に焼きつき蘇ってきます。そんななか、まだ幼くして大地震を経験した本校工業高等学校建築科の生徒諸君が、昨年に引き続き、授業の一環となる耐震診断実習を行えたことは、地域の防災力向上に寄与し、耐震診断教育の更なる向上を図る上で有意義な検証になりました。

生徒にとり肉親等から伝え聴く震災の恐怖は特別なものであります。それ故、地震への備えを日頃より現場で診断されている講師の先生方の臨場感漂う講義・実習を通じ、耐震診断の基礎基本を学べたことは、地震という大自然の猛威に対し、建築的に小さく噛み砕き、住宅耐震の実情を体験できたことは大きな成果です。また、教員にしても今後耐震診断実習を継続する上での手掛かりが得られました。

昨年度は、生徒を始め講師・教員も戸惑いながらのスタートでしたが、耐震診断実習の大切さを述べる生徒や、居住者からの話を聞くヒヤリング調査、外観では発見できない内部調査結果とのギャップを訴える生徒もおり、それなりに成果をあげることができました。

今年度は、耐震診断を行う上で更なる高みを目指し、1学期より何度か講師の竹中先生・迫水先生、神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）の丹下係長・生田係長を中心に「生徒に解り易い講義の内容と耐震診断教材としての住宅選定」をテーマに、討議を重ねてまいりました。その結果、教え伝える側の明確な講義内容、チェックシートのポイントを絞った耐震診断実習へと改善されました。その結果、生徒は生き生きとした表情で講義や実習に興味をもち、積極的な言動も聞かれ、また一歩前進の手応えを感じています。

地震と背中合わせに暮らす以上、建築の安全への取り組みは、更なる課題として、生徒の心に深く刻まれたことと思います。今後は、耐震診断を踏まえ耐震改修へと実習内容を展開できるように更なる改善を考えてまいります。

最後になりましたが、この度の実習を行うに当たり、大切な住宅を教材に快く提供して戴いた家主様、厳しくかつ丁寧・適切な講義・実習をご教授して戴いた(社)兵庫県建築士事務所協会神戸支部の診断員の皆様、最後まであらゆるサポートを戴いた神戸市すまいの安心支援センター長 大塚様、住宅選定に奮闘戴いた地区自治会長 上田様には大変感謝申し上げます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

平成20年11月

兵庫県立兵庫工業高等学校

建築科 湯 浅 保 雄





# 生徒の感想…

## 建築科3年(No6) 氏名 岡田 優貴

課題1:「耐震診断に関する構造の基礎」 講師:株式会社 日本建築設計事務所 代表取締役 清水和裕 氏

◎課題のよき点

この講義は、地震工学の基礎から、耐震診断の具体的な手順まで、非常に詳しく解説されました。特に、耐震診断の目的や、診断の種類、また、診断結果の活用方法など、実務に直結する内容が多く、大変勉強になりました。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎課題のよき点

項目	内容
基礎知識	地震工学の基礎
耐震診断の種類	静的解析法、動的解析法
診断結果の活用	補修計画の立案、耐震性の向上

課題2:「耐震診断に関する資料の整理とまとめ」 講師:一級建築士事務所 代表 田中 隆 氏

◎課題のよき点

この講義では、耐震診断に関する資料の整理とまとめの重要性が強調されました。特に、資料の収集方法や、整理の仕方、また、まとめの作成方法など、具体的なノウハウが学べました。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎課題のよき点

項目	内容
資料の収集	図面、写真、調査データ
資料の整理	目録の作成、ファイル分け
資料のまとめ	報告書の作成、プレゼンテーション

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。



## 建築科3年(No12) 氏名 薄田 芽生

課題1:「耐震診断に関する構造の基礎」 講師:株式会社 日本建築設計事務所 代表取締役 清水和裕 氏

◎課題のよき点

この講義では、耐震診断の基礎知識が詳しく解説されました。特に、耐震診断の目的や、診断の種類、また、診断結果の活用方法など、実務に直結する内容が多く、大変勉強になりました。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎課題のよき点

項目	内容
基礎知識	地震工学の基礎
耐震診断の種類	静的解析法、動的解析法
診断結果の活用	補修計画の立案、耐震性の向上

課題2:「耐震診断に関する資料の整理とまとめ」 講師:一級建築士事務所 代表 田中 隆 氏

◎課題のよき点

この講義では、耐震診断に関する資料の整理とまとめの重要性が強調されました。特に、資料の収集方法や、整理の仕方、また、まとめの作成方法など、具体的なノウハウが学べました。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎課題のよき点

項目	内容
資料の収集	図面、写真、調査データ
資料の整理	目録の作成、ファイル分け
資料のまとめ	報告書の作成、プレゼンテーション

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

◎意見と考察

今回の講義を通じて、耐震診断の重要性が改めて認識できました。特に、資料の整理とまとめの重要性が強調されました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

また、講師の経験豊富な知識や、現場での実践的な事例の紹介が、理解を深めるのに非常に役立ちました。今後の学習や実務に活かしたいと思います。

生徒の感想…

◎所見と考察

・授業の導入は、建築士としての責任感から入った。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。

・授業の導入は、建築士としての責任感から入った。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。

・授業の導入は、建築士としての責任感から入った。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。  
 ・建築士としての責任感、設計士の責任感。



建築科3年(No.24) 氏名 樋口 翔守

講義 I : 耐震診断に関する講義の概要 講師: 株式会社 日本建築設計事務所 代表取締役 池本和彰 氏

◎講義の要点

・耐震診断の概要  
 ・耐震診断の種類  
 ・耐震診断の目的  
 ・耐震診断の手法  
 ・耐震診断の成果

・耐震診断の種類  
 ・耐震診断の目的  
 ・耐震診断の手法  
 ・耐震診断の成果

講義 II : 耐震診断に関する実践的授業の概要 講師: 株式会社 池田建設 代表 野中裕隆 氏

◎講義の要点

・耐震診断の概要  
 ・耐震診断の種類  
 ・耐震診断の目的  
 ・耐震診断の手法  
 ・耐震診断の成果

・耐震診断の種類  
 ・耐震診断の目的  
 ・耐震診断の手法  
 ・耐震診断の成果

◎所見と考察

・耐震診断に関する講義の概要  
 ・耐震診断に関する実践的授業の概要

・耐震診断に関する講義の概要  
 ・耐震診断に関する実践的授業の概要

◎所見と考察

・耐震診断に関する講義の概要  
 ・耐震診断に関する実践的授業の概要

・耐震診断に関する講義の概要  
 ・耐震診断に関する実践的授業の概要



# 生徒の感想...

建築科3年(No.13) 氏名 竹内 綾子

◎実習の感想 - 概要

【注記(外務課長)】

昨日は、現場実習で、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。現場実習は、現場での実践を通して、建築の基礎知識と技術を身につける重要な機会です。今回の実習では、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。現場実習を通じて、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。

【以下内容抜粋】

1. 現場実習の重要性  
現場実習は、現場での実践を通して、建築の基礎知識と技術を身につける重要な機会です。今回の実習では、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。

【活動報告】

現場実習は、現場での実践を通して、建築の基礎知識と技術を身につける重要な機会です。今回の実習では、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。

課題1: 「耐震診断に関する基礎知識」 講師: 株式会社 近藤建設事務所 代表取締役 近藤 氏

◎講義の要点

1. 耐震診断の目的  
2. 耐震診断の種類  
3. 耐震診断の手続き  
4. 耐震診断の結果の活用

課題2: 「耐震診断に関わる関係機関と役割」 講師: 一般建築士事務所 代表 町田 氏

◎講義の要点

1. 関係機関の種類  
2. 関係機関の役割  
3. 関係機関との連携

◎所見と考察

現場実習を通じて、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。

◎所見と考察

現場実習を通じて、現場の雰囲気や作業の流れを直接体験することができました。また、現場の安全対策や作業の進捗についても詳しく説明されました。今後の実習でも、積極的に参加し、現場での実践を通して、建築の魅力をさらに深く理解し、技術を磨いてください。

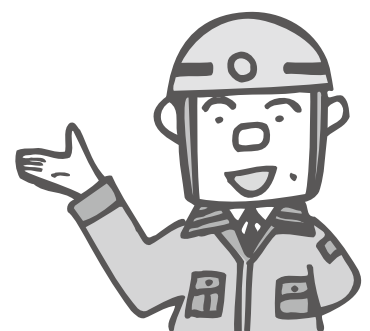






## スケジュール

9時15分	三宮バスステーション出発 ↓ バスにて移動	12時30分	インテックス大阪出発 ↓ バスにて移動
10時00分	インテックス大阪着 ↓ 大阪ガス「リビングシステムフェア」研修 6号館Bリビングシステムフェア2008開催 6号館Aエネルギー・環境フェア2008開催	13時15分	国立国際美術館見学 ↓ 隣接の大阪市立科学館あり。 徒歩にて移動
11時25分	集合 ↓ 徒歩にて移動	14時45分	集合 水都OSAKAプロジェクト散策
11時30分	昼食 ↓ ハイアット2F ルビーの間(バイキング)	15時00分	朝日放送新社屋見学 ↓ (ロイヤルホテルのケーキセットで休憩有り くつろぎの一時を・・・)
12時25分	集合	17時10分	集合
		17時15分	朝日放送出発 ↓ バスにて移動
		18時00分	三宮中央区役所前着







●工程表

月日(曜)		行程	
1日目	9月19日 (金)	神戸 → 一宮IC → 三菱電機【稲沢製作所】 → 飛騨清美IC → 8:00発 高さ173.0mのエレベーター試験塔見学・研修 三菱電機エレベーターショールーム見学・研修 11:00~13:30 研修・昼食	
		(株)キタニショールーム → 高山 本陣平野屋 【オリジナル名作家具展示】 15:30~17:00 観光・見学 17:30着予定 宿泊	宴会 19:00~21:00 (19:30~厳立太鼓ショー) 二次会 21:30~23:00
2日目	9月20日 (土)	本陣平野屋 → 高山市内【朝市・陣屋等】 → まつりの森【地中ドーム】 → 8:30発 9:00~11:30 散策・観光 11:45~13:45 昼食・観光	
		飛騨の里 → 飛騨清美IC → 三宮 14:00~15:30 観光 20:00着予定	

## 親睦研修旅行紀行

神戸支部会員 前田信行一級建築士事務所 前田信行



親睦研修一泊旅行の朝は台風13号がゆっくりと四国地方から近畿の沿岸に近づいてくるまさに我々が研修と宿泊先の岐阜県高山市と東に向かう方向に後を追ってくるような状況。朝の集合場所のJR神戸駅南口では、参加者の朝の挨拶は「えらい天気やなー」。これから旅先どうなるのか心配。交通渋滞や行き先の大雨で、ずぶ濡れになるかもなど、変な心配を抱きながら、神戸支部20名、阪神支部3名、賛助会員5名を乗せた神姫観光バスはいざ定刻の8時に出発。順調に高速道路を進み、車中では支部長の挨拶から始まり参加者の自己紹介、本日の日程や、最初の研修予定地の三菱電機（稲沢製作所）の事前見学手順の説明がされるうちに目的地近くに到着。広い平野に突如、真っ白な塔が見えだした。昨今、超高層の立ち並ぶ都市にすんでいるせいか遠目はそんなに驚きも無かったが、さすが高さ173mでビルの40階建て相当の塔は近くに寄ると圧巻。まず、研修室に招かれ、冒頭、三菱電機様より「遠方から台風と一緒に来てもらって大変でしたね」とお迎え。一通りのエレベーター実験塔の説明を聞き、3班に別れ、実験塔の見学に。エレベーターの乗り心地は抜群、高速でありながら振動はほとんど感じることはありませんでした。最上階へは40秒足らずで到着。目の前には巨大な装置（風など建物の揺れを抑える制御装置）と360度のパノラマの世界、台風接近ですが小雨程度で視界もまずまずで大感激。また、1階から3階のショールームでは、エレベーターの歴史、安全、効率、快適性、意匠、メンテ

ナンス、セキュリティシステムなど最新の技術を勉強することが出来ました。そして昼食も用意していただき、三菱電機様ありがとうございました。次の予定地は山本支部長のご紹介による北欧家具のライセンス生産、販売や特注家具の製作をされている株式会社キタニのショールームへと向かいました。ここでも社長様より「台風と一緒に来てもらって大変でしたね」とお迎えのお言葉。その後、約30分程度の映像による会社の説明を聞かせていただきました。（参加者の何人かは、昼食時に少しお酒を頂かれ、旅の疲れもあって心地よさそうに居眠りをされていました。申し訳ございません）一連の建物は自然豊かな地に以前は陶器工場であったものを近年買い取られ改修、増築をされたようで、自然と溶け込んだオシャレなたたずまいの建物となっていました。ショールームには、職人の高度な技術による手作りの家具がレイアウト良く並べられ良質でデザインの優れた椅子などに思わず腰をかけ、「これは良いねー買いたいなー」と思いましたが、そこに表示の値札は当然それにふさわしい価格でした。そしてこの日の見学も終わり、バスは無事、宿泊地の「高山 本陣平野家」へ到着となりました。ホテルの到着ロビーでは大太鼓を打ち鳴らしてお出迎えされ、部屋からは観光地の中心を流れる宮川に架かる赤い中橋が見える景色のすばらしい旅館（五つ星）でした。展望風呂で一日の疲れを取り、楽しみの夕食の宴会場へ飛騨牛、松茸と美味しいお酒、初めて見る巖立太鼓のショーまで企画して頂き堪能いたしました。その後、有志の方々が2次会は旅館のスナック（とは言っても玄関ロビーの一角が可動間仕切りで変身するのだが）で自宅神戸に接近した台風の事も皆様すっかり忘れカラオケとダンスを楽しみました。次の日、台風は飛騨地方も寝ている間にすっかり遠ざかり、朝から考えられぬ晴天に恵まれました。朝11時過ぎの出発まで自由行動で最近、訪れたと言う、K氏の案内で5、6

人でぶらりと徒歩で市内観光をしました。先ず本陣平野屋の別棟の女性専用リラックゼーションルームを見学させていただきました。蔵を改装し浴室、マッサージ室、休憩室は女性が心底からリラックスできる内装となっていました。初日に訪問した株式会社キタニのショールームの設計者と同じ方が設計されたと聞いていましたが納得いたしました。その後、かつて商人町として栄えた古い町並みを散策しながら、お土産物を物色し名物の朝市の見学などをした後、バスに乗り込み、「高山 本陣平野家」を出発し約15分で次の見学地「まつりの森」に到着。ここは山の岩盤をくりぬいたままに地中ドームがつくられ、この中は天然の状態です。年中、気温20℃、湿度60%に保たれていてまた紫外線、電磁波、放射能などの天敵から美術品を保存展示するには最適な場所となっているそうです。建設費や展示品は全て民間人の私財によるようで驚きました。平成に作成された8m級の屋台が10台ほど展示され、精密なからくり人形が時間ごとに動くようになっていました。またまた驚いたことに世界最大の大太鼓が展示され、これもからくり人形が時間ごとに打ち鳴らすのです。ドームに響きわたる音のそれは……

そして、お昼ご飯を頂き、バスに乗り込み、約15分で次の見学地の「飛騨民俗村 飛騨の里」へ

ここは合掌造りの建物を飛騨各地から移築され、古民家のたたずまいや、山村の生産用具、生活用品から昔の人々の苦労や暮らしの知恵を偲ぶとともに、わら細工、機織りなど各種実演や体験が出来るという場所です。約2時間の散策時間を使い、先人の知恵をいろいろと感じ取ることが出来たことと思います。最後の見学地を後に午後3時頃、帰路へ出発となり、無事、定刻より早く三宮に着きました。初日の朝、あんなに心配していた台風の影響やトラブルも無く、良かったと思います。最後に2日間安全を第一に、わがままな我々を運んでくれたバスの運転手さん、ガイドさん、ありがとうございました。そして、賛助会の皆様、阪神支部の皆様お疲れ様でした。神戸支部事業部の皆様、企画から大変なお世話でしたでしょう本当にお疲れ様でした。また、ありがとうございました。

今回、私は当会に入会4年生ですが、初めて一泊旅行に参加しました。実は私事ですが公私共に大変な時期で参加をする事に悩んでいました。ある会員の方よりお誘いを頂き、渋々参加をする事となりました。しかし、参加していろいろな方と交わることが出来、いろいろと得る事がありました。まだ、私のように一度も研修旅行に参加されていない方、是非次回は参加してみたいかたがでしょう。

## 2008親睦研修一泊旅行参加者名簿

(28名)

番号	事務所・会社名	参加者名	番号	事務所・会社名	参加者名
1	(有)和田建築事務所	和田 利雄	15	ハウレ設計室	田中 邦男
2	(株)レンゴ一建設	角村 和良	16	阪本建築事務所	阪本 元秀
3	寄神建設(株)一級建築士事務所	吉田 忍	17	関西電力(株)神戸営業所	楠本 一喜
4	北風建築設計事務所	北風 雅頌	18	(株)盤 設計	為金 清人
5	四国大学	井上 史朗	19	(有)竹久建築設計事務所	平川 宏行
6	廣原一級建築士事務所	廣原 俊元	20	一級建築士事務所 プラマ190	竹中 郁雄
7	菱電工レベーター施設(株)神戸	西野 善忠	21	文化シャッター(株)神戸支店	酒井 和一
8	神戸中央設計	小島 順治	22	朝日共同設計(有)	高田 昌之
9	前田信行一級建築士事務所	前田 信行	23	(株)アーキノヴァ設計工房	柏本 保
10	(株)川崎設計	川崎 史	24	(株)山本設計	山本康一郎
11	大阪ガス(株)兵庫リビング営業部	平井 保夫	25	APEX設計	渥美 充弘
12	(株)北村鉄工所	太田 慧一	26	(株)山本設計	坂口 義博
13	(有)徹建築設計事務所	岡田 徹	27	(株)ライフ一級建築士事務所	山下 廣光
14	清原建築事務所	植松 實	28	(株)ライフ一級建築士事務所	山下 朝美

## 工事現場見学会・合同地区別連絡協議会

日時：平成20年11月28日 14:00~17:20

研修部 幹事 廣原俊元

### ●第1部● 超高層マンション「ジークレフ新神戸タワー」工事現場見学 …… 14:00~16:00

構造規模；鉄筋コンクリート造 地下1階・地上41階・塔屋1階

今回の研修はJR新神戸駅に集合。駅前のジークレフ新神戸タワーにて、設計・施工である清水建設(株)の現場所長より、設計概要・施工要領の説明の後、工事現場の見学を行なった。

この建物の特徴は、地上3階と4階の間を免震層として設計している所である。地上3階までをテナントビル用とし、4階から上を共同住宅として設計してある。上部構造の共同住宅部分は、6日で1フロアを打設していく工程で進めている。ちょうど36Fの建込み中であった。

平成21年8月に竣工予定で工事が急ピッチで進められていた。



### ●第2部● 神戸すまいるネット セミナールームにて勉強会 …… 16:20~17:20

賛助会による商品の説明が4社有りました。又、意見交換を行なった。



### ●第3部● 忘年会 …… 17:30~19:00

忘年会は出席予定者に欠席もなく、正会員・賛助会員共々自己紹介を和気あいあいと行ない、質・量ともに満足して貰えたと思う。



## 第25回親睦ボーリング大会



日 時：平成20年2月2日（土）  
場 所：ラウンドワン三宮駅前店  
参加者：会 員 40名  
賛助会員 10名

### ◆個人の部

優 勝	越智 修治（神鋼不動産）
準優勝	大谷 一平（大谷建築設計事務所）
第3位	芳野 美香（創企）

### ◆団体の部

優 勝	神鋼不動産
準優勝	山本設計
第3位	大谷建築設計事務所



### 参加者名簿及び組み合わせ表

レーン№	氏 名	事務所・会社名	レーン№	氏 名	事務所・会社名	レーン№	氏 名	事務所・会社名
1	出口 宏一	大谷建築設計事務所	6	浅野 静	エトスアソシエイツ	11	川崎 史	川崎設計
	富永 裕加	〃		山口 岳彦	〃		川崎 好美	〃
	長谷川祥平	〃		吉良 達也	〃		川崎衣里永	〃
2	大谷 一平	大谷建築設計事務所	7	小原 章嗣	大阪ガス	12	竹中 郁雄	ブルーム190
	大谷 潤平	〃		吉田 陽子	〃		竹中 彩夏	〃
	山崎 大之	〃		小野 綾子	〃		竹中 萌	〃
3	平川 雅勝	創 企	8	玉野 光彦	文化シャッター 神戸支店	13	高田 昌之	朝日共同設計
	芳野 美香	〃		小原 一人	〃		田中 邦男	パウレ設計室
	鈴木 晶江	〃		渡辺 友資	〃		前田 進一	前田建築事務所
	富永 紘子	〃		来田 貴裕	〃			
4	越智 修治	神鋼不動産	9	山本康一郎	山本設計	14	平川 宏行	竹久建築設計事務所
	橋本真奈美	〃		宮下 正幸	〃		柏木 直子	日本ERI
	山根 英次	〃		寺谷 智裕	〃		福本 秀次	福本建築測量設計事務所
	塩田加奈子	〃		寺口 輝彦	〃		野中 昇	菱電エレベーター施設
5	柏本 保	アーキノヴァ設計工房	10	税所 豊	佐伯設計			
	柏本 洋子	〃		佐迫 義之	〃			
	初田 直哉	〃		多羽本由香理	〃			
	尾添 康弘	〃		阿路川美香	〃			

## 同好会だより

### ●KJ会ゴルフ同好会【会長：正井彬博 幹事：市来幸一・山本康一郎】

ゴルフ同好会は、雨にも負けず風にも負けず、楽しくコンペを行っています。ゴルフを始められた方、久しぶりにプレーしたい方、新しく入会された方々も、ご連絡をお待ちしております。

#### ◆第164回 H20.3.26 (城山ゴルフクラブ)

(参加者11名)

優勝	2位	3位
山本康一郎	市来 幸一	八木 啓祐

#### ◆第165回 H20.6.4 (東条の森CC大蔵)

(参加者11名)

優勝	2位	3位
為金 清人	市来 幸一	八木 啓祐

#### ◆第166回 H20.9.3 (関西クラシックGC湯谷)

(参加者13名)

優勝	2位	3位
瀬戸本 淳	平井 保夫	市来 幸一

#### ◆第167回 H20.12.3 (千刈CC)

(参加者12名)

優勝	2位	3位
為金 清人	三好 卓治	越智 修治



### ●麻雀同好会【幹事：泰中輝久】

麻雀同好会は娯楽を目的に楽しく開催されており、久しぶりに麻雀される方が多数ですので麻雀の初心者などもご遠慮なく参加してください。(前田進一)

#### ◆第30回 H20.7.12 開催・・・参加人数12名

優勝	準優勝
森川 広澄 (梅元商行)	澤原 雅典 (関西電力神戸営業所)

#### ◆第31回 H20.10.18 開催・・・参加人数8名

優勝	準優勝
前田 進一 (前田建築設計)	辻 俊夫 (丹田工務店)



# 作 品 紹 介



この住宅は北野町から再度山に上る坂道沿いにあり、上階からは神戸の街が一望できる。

平面形は中庭を中心として決定された。中庭に面したさまざまな用途の流れる空間は、レベル毎に異なる光のシークエンスの作用によって、豊かな生活をもち、家族のライフスタイルに活気を与えている。



設計監理／株式会社瀬戸本淳建築研究室

物件名／OK邸

施工／株式会社金谷工務店

建築場所／神戸市中央区北野町

工期／平成19年1月～平成20年3月

構造規模／RC造 地下1階、地上2階建

建築面積／193.99㎡

延床免責／417.01㎡



敷地は、JR三ノ宮駅前（南側）の大小店舗や飲食店、中高層のオフィスビルや集合住宅が高密度に建ち並ぶ一角にあり、敷地の面積は約80坪ほどである。

そこで商業地域の高容積を最大限に生かす単身者向け集合住宅が求められた。工事予算内での効率性と他物件との差別化が求められるが、極端な変化やデザインよりも従来のものに高い居住性、快適性を付加することを考えた。隣地三方を建物に囲まれているため、開放性の期待できる前面道路に向かってバルコニーとし、片側老化、基準階フロア4戸の住戸配置とした。また、前面道路に対しては約5.0mのセットバックをしている。これは駐車スペースの確保と道路斜線制限の為でもあるが、道路との間に開放性と空間ができ、周辺に対する高層建物への圧迫感を軽減することができた。

住戸内部はオーナーの要望と工事予算のこともあり、スタンダードなワンルームプランとし、キッチンなどの水廻りを最小限におさえ、居住部分と収納の十分な広さを確保した。12.13階はセットバックしている為、1LDKタイプ、メゾネットタイプとした。基準階の住戸と違って広い空間やバルコニー、収納スペースの十分な確保と変化のあるプランとしている。また、全体として可能な限り天井高さを確保し、バルコニー開口部をハイサッシュとするなど、居住性と快適性に配慮した。バルコニーについても、アウトフレーム逆梁工法の採用により限られた開放性と採光、通風を最大限に確保した。外観は、アウトフレームでグリッドを構成して磁器質タイルとコンクリート化粧打放ポードを組み合わせ、リズム良く連続するようなファサードとした。外壁タイルの色は周辺になじみやすい白とした。

様々な法規制や工事予算など、超えなければならぬハードルはあったが、オーナーの希望や想い、また設計者の考えを形にすることができたと考えている。



設計監理／株式会社市来建築設計事務所  
 物件名／グラーシェ三宮  
 施工／株式会社山田工務店  
 建築場所／神戸市中央区旭通5丁目  
 工期／平成19年1月～平成20年2月末  
 構造規模／鉄筋コンクリート造 13階建  
 建築面積／160.59㎡  
 延床免責／1,612.21㎡





まちの診療所としての機能及び憩いの場、地域のシンボリックな役割を果たせるよう考えた。

リハビリ室や診療室等と言った部屋のレイアウトは職員の方々と綿密な打ち合わせと専門的なアドバイスをしたことで、動線もスムーズなものになった。棟飾りを付けることで、重厚感を演出し、外壁に銅板を使用することで、シャープさを出したデザインとした。全体的なイメージとして利用者に安らぎをもたらせればと考え、優しい色使いとしている。

設計監理／株式会社アーキノヴァ設計工房  
 物件名／医療法人社団 大藤第二診療所  
 施工／株式会社高翔  
 建築場所／尼崎市西難波町  
 工期／平成20年4月～平成20年10月  
 構造規模／鉄骨造2階建  
 建築面積／216.77㎡  
 延床免責／386.47㎡



古田 義弘  
Yoshihiro Furuta

### ■高座川畔の家

敷地の高低差にあわせて2階に玄関を取り大きな吹き抜けを中心に構成した住まいです。川の流れと山あいの自然が満喫できます。

設計監理／株式会社アトリエフルタ建築研究所

物件名／高座川畔の家

施工／

建築場所／芦屋市

工期／平成16年10月4日

構造規模／木造2階建

建築面積／

延床免責／142.48㎡

## ●●●「作品紹介」の募集と展示のご案内について●●●

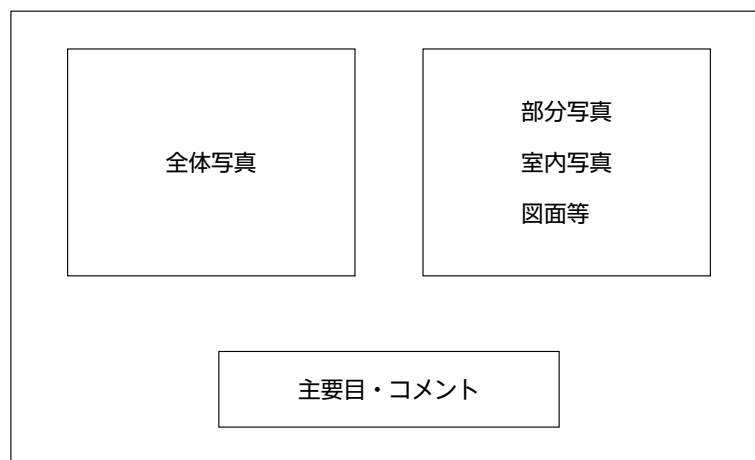
標記について、「作品紹介」を下記の展示・掲載のために、会員の皆様から募集しますので、応募要領により奮ってご応募下さい。

### I 「作品紹介」募集について

#### 1. 応募作品の内容

建築物を対象とし、下記の要領で纏めた作品とします。

写真と主要目・コメントを下図(例)のようにA3サイズにレイアウトして、下記の宛先までご送付下さい。



①写真配置は例示したもので複数枚でも可です。

②机上自立展示又は壁に吊り掛け展示になりますので、当方で用意するA3透明硬質ビニール製カードケースに入れて展示しますので、挿入出来るものとしします。(カラーコピーで可)

主要目・コメント欄には下記事項を記載して下さい。

- ①物件名 ②設計監理 ③施工 ④建築場所(区町まで) ⑤工期 ⑥構造規模 ⑦建築面積 ⑧延べ面積
- ⑨内容・コンセプト

\*応募作品は返却しません。

#### 2. 応募作品提出先

連絡先：〒657-0842 神戸市灘区船寺通4丁目5-21 成瀬設計事務所 宛(郵送又は宅配便)

TEL 078-862-0810・FAX 078-862-0811/Email:naruse2@gmail.com

## 本 年 度 作 品 展 示 状 況

### エル・ギャラリー「のっぽ」での展示

◆日時：平成21年1月26日(月)～2月6日(金)

◆場所：神戸市中央区加納町6丁目2番1号

関西電力㈱神戸営業所 神戸関電ビル1F(市役所南側) エル・ギャラリー「のっぽ」

◆展示方法：当方で用意したA3透明硬質ビニールカードケースに入れて壁吊り掛け展示

出来るだけ展示・紹介したいので、その他にご推薦出来る展示場所がありましたらご連絡下さい。

# 下町は老若男女のパラダイス

—下町レトロに首っ丈の会—

下町レトロに首っ丈の会隊長  
一級建築士事務所 状況設計室代表 山下 香

## 1.神戸における兵庫区・長田区とは

神戸市でも下町と呼ばれる兵庫区・長田区南部地域。この地はかつて平清盛が開港した日本初の港「大輪田泊（おおわだのとまり）」があり、現在の神戸中央卸売市場には兵庫城が建造されその周辺に歴史的な社寺が集積した。明治時代には兵庫県庁が建設され、神戸の中心地として栄えた。しかし今日、日本一長い運河である「兵庫運河」沿いに東西に延びるこの地域はインナーシティ問題に直面する地域として有名である。

三菱造船、川崎造船、三菱電機、川崎重工など大規模工場を抱えるこの地域には古くから住居も兼ねた下請工場等や労働者を対象にした小規模商店がその周辺に集まり、商・工・住が混在する特有の都市構造を形成してきた。しかし近年の非工業化による下請工場などの郊外への流出や居住者の高齢化などからこの地域の経済基盤は揺らぎ始め、経済の衰退が問題視されている。

これに加え、先の阪神淡路大震災によりこの地域の住宅環境の老朽化が指摘され始めた。今も数多く残る路地や長屋は火災発生時には延焼を免れない。災害時、被害の拡大を防ぐために整備が必要な地域—以上が兵庫区・長田区の一般的認識といえる。

1995年の阪神淡路大震災で兵庫区・長田区は甚大な被害を受けた。マスメディアの映像を見た誰もが下町風情を残していたこの地域が壊滅状態になったと思った。しかし、兵庫区・長田区南部地域に根付く昔からの下町情緒はどういう訳か震災をしっかりと乗り越えていたのであった。





## 2.豊富な地域資源に恵まれた神戸の下町「兵庫・長田」

震災直後の1996年建築を学ぶために渡英。その後フランスで都市計画を学び、フランス政府公認建築家の資格を取得後2005年に神戸に戻った。フランスでの論文の題材として、兵庫区南部の兵庫運河周辺地域を取り上げた。

この時、舗装されていない土の路地、軒先でめいめいが植木を育てる長屋、共同で使う木製の物干し竿、昭和の匂いが漂う純喫茶、放課後になると子供が集まる路地の駄菓子屋、夕方になると会社帰りの人が集まる立ち飲み屋、古いたたずまいの風呂屋など数えあげるときりがない下町情緒が今でも残っている事を知った。

震災で全て消え去ったと思われていたこれらのものが兵庫区・長田区南部地域にはきらきらと点在して生きている。発掘すればするほどお宝が見つかるこの地域は自分にとって宝箱のように映った。



懐かしい路地



レトロな市場



昭和の匂い漂う純喫茶



商店街のアーケード



立呑み屋さん



金物屋さん



路地の銭湯



レトロな看板たち

### 3.下町レトロに首っ丈の会結成

論文製作の際、何度か神戸に帰ってきては調査を行なった。兵庫区南部地域である和田岬周辺を調査していた時、とあるお店を見つけた。「淡路屋」という古い暖簾が架かった小さな店(写真左)。外には子供たちがたくさん群れている。結局何の店かは分からず、あまりの子供の多さに退散した。

フランスから神戸に帰る飛行機の中でふと「あの店」を思い出した。神戸の家に着いたら自転車に乗ってもう一度あの店を探してみようと家に帰りスーツケースを置きそのまま自転車に乗り和田岬に出かけた。何とか勘で店を見つけ出したが今回子供は見当たらない。お年寄りの店主を想像し店に入ると、今まで見たことも無いような店内の造りに驚いた(写真右)。もっと驚いたのは店主が自分と同じ世代の女性だったということであった。

この店はクレープと駄菓子屋さんで、今話題の神戸たこ焼き(たこ焼きにソースとだしをかけて食べる神戸独特の食べ方)や定食もある「なんでも屋さん」で、彼女がいつも小窓からクレープを焼きつつ地域の子供たちを見守っている。話が弾み恐ろしいほど意気投合。お互いこの下町をこよなく愛し、「柄の悪いところ」と一蹴されていることに不満を持っていた。そして、なによりこの地域の面白さをひとりでも多くの人に知ってもらいたいという思いを抱えていた。



淡路屋正面



淡路屋店内にて淡路屋のおばあちゃんと外国人客

### さびれた地域から「下町レトロ」へ

「下町レトロに首っ丈の会」：20代から80代までの下町を愛する女子有志の会



会長：伊藤 由紀



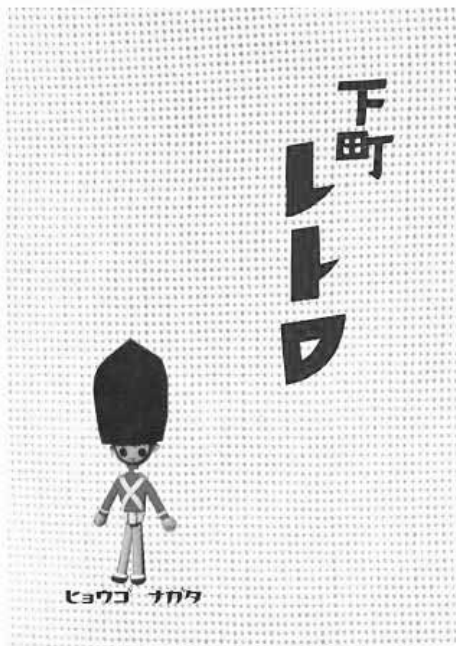
隊長：山下 香



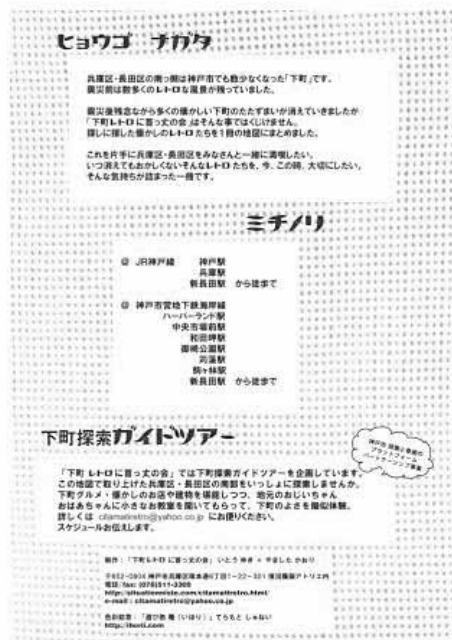
## 4.発掘の賜物「下町レトロ地図」

小さな地図を彼女は見せてくれた。彼女お手製の和田岬案内マップには地域に点在する面白い店や、地元の人にしか分からない情報が紹介されていた。一方、私は論文の中で兵庫区南部地域の地域資源を紹介していた。お互い自主的に作っていたマップを見せ合い、これらを混ぜて下町を紹介する地図を作ろうと作成したのが「下町レトロ地図」である。(写真：下町レトロ地図) 蛇腹折の細長い地図で、表面には兵庫区・長田区南部地域に点在するお店やスポット紹介、裏面にはレトロを切り口に地元のおじちゃんたち、銭湯、中央市場、工場、建築などを特集した。

お互い仕事をしているため、仕事終わりに発掘作業を行なう。あらゆる店に行き、ローカルな情報を集めた。また、あらゆる地域の面白いおじちゃんやおばちゃんと知り合い、レトロな建築物、店、看板などの「目に見える」地域資源と、地元のおじちゃんやおばちゃんの魅力、智恵や技能などの「目に見えない」地域資源を発掘していった。



地図表紙



地図裏面



地図内部（一部抜粋）



## 5. 1日で下町を疑似体験できる「下町遠足ツアー」

この地図が出来るときから月1回「下町遠足ツアー」なるものを開催し始めた。今まで発掘してきた地域資源を組み合わせ、参加者に1日で下町の生活を疑似体験してもらうという内容のツアー。昭和の匂い漂う純喫茶でのティータイム、路地の駄菓子屋さんでの200円お買い物ゲーム、立ち食い串カツ、コロッケ、名物まんじゅうなど地元のローカル食の食べ歩きを始め、地域のおじちゃんやおばちゃんにお教室をしてもらい地域住民と交流するというプログラム（写真）ツアー参加費にはその日1日の食べ物代、飲み物代、お教室代全てが含まれている。



色あざやかな駄菓子



駄菓子屋さんでのお買い物ゲーム



立ち食い串カツ試食



レトロなインテリア



昭和純喫茶でのお茶タイム



ひしゃく1杯がコップ一杯のジュース屋さん



ボン前

懐かしいボン菓子



ボン直後



「まちの活性化」という言葉が使われて久しいが、まちを活性化するには地域に少しずつでもお金を落とすしていく仕組みが必要であるため、ツアーでは地域の各店で少しずつ消費活動していくように心がけた。

発掘作業当初は、自分の店を古臭いと思っている店主が「好きで“レトロ”してへんわ。」と怒っていたが、ツアー当日若い参加者達が喜びながら店で買い物している姿を見て目を輝かせることも今ではしばしば。今まで来た事の無い世代の来客が嬉しいようだ。若い参加者達が本当に喜んでいる姿を見て、自分の店や自分自身に対する価値を再認識することが出来るように思われる。



四つ葉のクローバー探し



なつメロ喫茶でのお茶タイム

また、お教室では地域の面白いおじちゃんやおばちゃんに技能や智恵などを披露してもらい地域内外から集まる参加者と交流してもらう。今まで開催したお教室は、映画看板絵師山中さんによる似顔絵教室、なつメロ喫茶「二人は若い」のマスターによるなつメロ教室、立呑み屋さん「直売所さとう」の女将による立ち飲み流儀教室、木版画家荒木さんによる版画教室、荒木さんの奥さんによる師走のお煮しめ教室、宮前写真場の神戸マイスター伊藤さんによる写真教室など多岐に渡る。(写真)

これらの小さい変化が地域の活性化に繋がるのではないかの思いで毎月ツアーを開催し、2008年12月で23回を数えた。参加者も毎回30人は集まるようになり、兵庫区・長田区の地域内、神戸、大阪、京都、広島、東京などの他地域やスイス、ドイツ、アルゼンチン、スコットランド、ロシアからも参加者が集まった。



木版画教室



似顔絵教室



立飲み流儀教室

## 6.下町のおじちゃんおばちゃんとおしゃれな若者とのコラボイベント

3年間下町レトロに首っ丈の会の活動を行なう中で、今まで発掘した下町の面白いおじちゃんおばちゃんとおしゃれな若者とのコラボレーションイベントが数回開催された。

元町の北部のトアウエスト地区、また南部の海岸通・栄町・乙仲通周辺にはこだわりを持った若手店主たちのカフェ、書店、ギャラリー、雑貨店、古着屋などがある。下町レトロに首っ丈の会は、今までの兵庫区長田区のイメージを転換するためこれらのこだわり系店舗に集まるおしゃれな若者達もツアーのターゲットにしてきた。ツアー開催時のパンフレット（これらはフライヤーと呼ぶ）を各店に置いてもらい宣伝活動を行なう中、若手店主たちもツアーに共感してくれ沢山のサポーターが生まれた。

これらのお店に下町の面白いおじちゃんやおばちゃんを紹介する中で老若男女の交流が生まれ始めた。

### ●元町トアウエスト「トンカ書店」での「ネーポンお疲れさま祭」開催

全国的に有名な「ネーポン」という瓶ジュースを製造してきた兵庫区にあるツルヤ食品研究所が2007年製造を終了することとなった。レトロ感溢れる瓶ジュースは上田安子さん(68)が手作業で製造してきたが、体力的な理由から廃業することを決意された。「ネーポン」を店頭で販売してきた元町トアウエストにある古本屋「トンカ書店」の若い女性店主は「ネーポンおつかれさま祭」というイベントを下町レトロと企画し開催した。上田安子さんの今までの功績をたたえた写真やイラストなどが神戸の写真家やイラストレーターたちから寄贈され(写真左)当日は老若男女の参加者で一杯になった店内で上田安子さんとネーポンの出演番組を映写機で流し大好評であった(写真右)。



ネーポンにまつわるイラストや写真



当日の会場の様子

●元町トアウエスト「トンカ書店」での「小西さんのピーナツ人形展」開催

2007年他界した長田区の御蔵地区に住む小西吉勝さん(73)は、中学時代から模型作りを始め、収集していたが阪神淡路大震災で自ら経営する電気工事会社共々これらの作品を失ってしまった。

震災後同じ場所に、「ものづくりの家」という小さなプレハブ小屋を建設し、そこで新たな創作活動を開始した。石炭を入れると本当に動く鉄製の汽車模型やプラスチックを全く使わない木製の帆船模型などを始め、ピーナツを使ったピーナツ人形ややじろべえなども創作し、地域のお年寄りを対象に教室を開催していた。

小西さんと知り合ってから以来、いつか下町レトロに首っ丈の会主催で「小西さんのピーナツ人形展」を開催しようと約束していたが2007年突然小西さんは他界された。翌年2008年「トンカ書店」と下町レトロに首っ丈の会は「小西さんのピーナツ人形展」を開催。小西さんが人にみせることを目的とせず黙々と作ってきたピーナツ人形の愛くるしさと膨大な数にあらゆる世代の来訪者は歓声をあげていた。



縁側で作品を作る小西さんとピーナツ人形たち

7.「下町老若男女パラダイス化計画」

来年2009年度の兵庫県震災復興支援事業である「まちのにぎわい一括助成」事業対象団体に下町レトロに首っ丈の会は採択された。事業内容は「下町老若男女パラダイス化計画」というもので、2年間にかけ下町兵庫・長田地区を老若男女が交流しながら楽しめる場所にする計画である。

具体的には今まで3年間に発掘してきた200名余りの面白い人たちを兵庫区・長田区の地域資源として広く内外に発信する地域紹介本の発行と、これらのシニア人材とおしゃれな若手店主たちとのコラボレーションを推進するイベントを開催することを計画している。



下町老若男女パラダイス化計画

## 8.さいごに

3年間に渡る兵庫区・長田区南部地域の発掘作業の中で、「目に見える」地域資源はもとより「目に見えない」地域資源、特に地元の面白い人々に出会う事が出来た。そういう人がたまたま懐かしい駄菓子屋さんであったり、おいしいお好み焼き屋さんであったり、渋い鉄工所の社長さんだったりするというのが面白かった。

それを若い人々は新鮮な感動をもって見つめている。その姿に改めて「自分もまだまだ捨てたものではない！」と自覚したおじちゃんやおばちゃんがツアーやイベントに協力してくれている。日曜日定休の店が多い下町で、日曜日のツアーを続けてこられたのは、ツアーのためにお店を開けてくれた店主さんたちのお陰である。

確かに体力的な理由などでお店を閉められた方も少なくない。店主がご高齢なため、いつかは閉められるということを受け止めた上で活動していく寂しさもある。しかし、これらの人々を兵庫区・長田区の地域資源と捉えた時、改めてこれからのこの地域の持つ無限の可能性が見えてくるように思う。

まちが人から出来ているという原点を考えた時、その構成要素である人が元気ならばまちも元気になるのではないかと考えながら次の一手を練っている今日この頃である。



# 六甲道駅南地区の震災復興再開発事業

神戸市住宅供給公社 理事 倉橋正己

早いもので、阪神・淡路大震災から14年が経った。神戸市が震災復興事業として行ってきた市街地再開発事業や土地区画整理事業はほぼ収束を迎えつつある。

ここでは、筆者が事業の立ち上げ時に携わった、六甲道駅南地区の市街地再開発事業について、その概要を紹介する。

## 1. 六甲道駅南地区の概要

六甲道駅南地区は、JR六甲道駅の南側に広がる約5.9haの地区である。当地区は神戸市のマスタープランで東の副都心に位置付けられている。

当駅から三宮まではJRの快速電車で約4分（5km）の位置にある。

駅前と、八幡線や国道2号の幹線道路沿いを除けば、古い低層木造住宅が建ち並んでいた。

約700世帯、約1400人が居住していた。



区域図

## 2. 震災の被災状況

阪神・淡路大震災により、六甲道駅南地区では建物の約65%が全半壊し、34名が死亡するという甚大な被害を受けた。

10階建てのメイン六甲BCビルは住宅の最下階（5階）で躯体が折れ、北へ傾いた。地区内の古い木造住宅がことごとく倒壊した。さらに、隣接するJR六甲道駅は高架が崩れ、駅舎が倒壊した。



地区の被災状況

### 3.復興都市計画(案)の発表

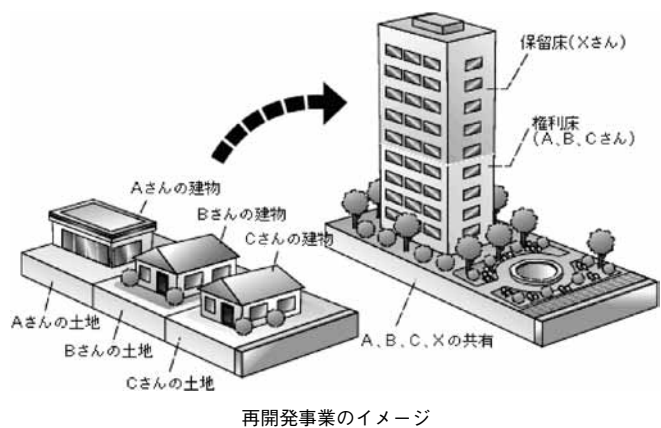
神戸市は、六甲道周辺を災害に強く、副都心にふさわしい街に生まれ変わらせるため、南地区は再開発事業を、北地区と西地区は区画整理事業を行う方針を2月22日付けの「震災復興まちづくりニュース」で発表し、都市計画決定の手続きに入った。

神戸市ではこれまでも、都心の三宮、西の副都心である大橋・新長田、東の副都心である六甲などでその拠点を開発事業によって整備してきた。

これらの実績があることから、今回の震災を受けて、新長田駅南地区(約20ha)と六甲道駅南地区(約5.9ha)という東西の副都心で再開発事業により街の復興を図ることにしたものである。

#### 再開発事業とは

- ◆再開発事業は、道路・公園、敷地、建築物の3つを一体的に整備する事業である。
- ◆土地を有効、高度利用して、道路や公園の用地を生み出し、権利者は現在所有する土地や建物の評価額に見合う再開発ビルの床と等価交換してビルに入居する。
- ◆事業費(計画費、除却費、補償費、工事費等)は、保留床処分金、補助金等で賄う。



都市計画決定を急いだのは

- (1) 市としていち早く街の将来像を示す必要があること
- (2) 事業用仮設住宅、店舗を地区内に建設できること
- (3) 土地を売却する場合は所得税で5,000万円の特別控除が適用されること

からである。

六甲道駅南地区再開発事業の目標は

- (1) 防災拠点の整備
- (2) 副都心機能の充実
- (3) 多様な住宅の大量供給
- (4) 歩行者ネットワークの整備

である。



当初の都市計画案

区域は、北はJRや駅前広場、南は国道2号、東は八幡線、西は六甲新道に囲まれた、約5.9haの範囲である。

2月下旬、都市計画案の縦覧を開始したところ、六甲道駅南地区の再開発事業に関する意見書の数は464通を数えた。その殆んどは、「住民の意見を聞かずに市が一方向的に計画決定するのは絶対反対であり、手続きを延期せよ」というものだった。

3月17日、当地区の再開発事業を含め全案件が原案通り都市計画決定された。しかし、「街づくりを進める各段階で、住民と十分意見交換をすること」という付帯意見が付いた。市長も、「住民合意のないまちづくりはあり得ません」と答えた。

このことにより、2段階都市計画として、第1段階は計画の大枠を示す「骨格」を定めたものとし、第2段階の詳細な計画は今後の住民との協議に委ねられた。

このため、神戸市では、

- (1) まちづくり協議会の設置、
- (2) まちづくり協議会への専門家派遣
- (3) 現地相談所の設置

の3項目を実施して住民の意見を十分計画に反映させ、また、きめ細かい住民対応をすることにした。

## 4.住民有志によるカウンタープラン

六甲道駅南地区では、震災による建物の倒壊を免れて自宅に残っていた約50世帯の住民が中心となって、都市計画決定の延期を求める意見書を集めた。

都市計画が決定された後、「避けられない再開発事業なら、自分たちが住み続けたいと思える街のイメージをまとめて市の計画に反映させよう」と、カウンタープランをまとめた。

市の都市計画案と大きく異なるのは、次の2点だった。

- (1) 戸建て感覚を残した低層集合住宅を中心とした構成（駅前のみ超高層棟）。
- (2) 地区の中央を南北に水と緑のモールを細長く取り、小公園を各街区の中に分散して配置。

4月上旬、住民有志は、カウンタープランの実現を求めて神戸市の再開発担当者と協議をした。

市は「これから地区全体の住民で構成するまちづくり協議会を作る。その場でこれも案の1つとして皆さんも一緒に議論して欲しい。」と回答した。

これを受けてこのメンバーは、まちづくり協議会の中心メンバーとして参加し、自分たちの意見の反映を目指して活動することになる。



住民有志によるカウンタープラン

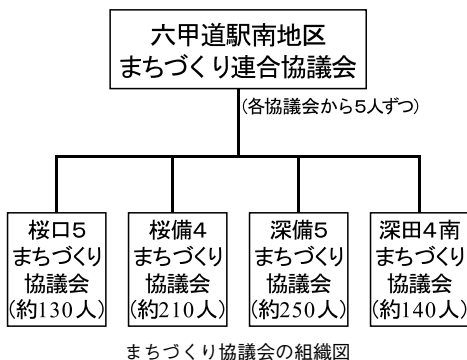
## 5.都市計画決定直後の市の動き

神戸市は、4月に入り、再開発事業の仕組み・進め方の説明会を重ねた。並行して、事業用仮設住宅の建設から手をつけた。地区外へ避難している住民に、とりあえず地区内に戻ってもらうための仮設住宅を合計131戸建設した。再開発ビルの建設予定地にまで仮設住宅を建設したのは、震災復興事業以外では考えられないことだった。



## 6.まちづくり協議会の設立

都市計画決定後の膠着状態が続いていたが、仮設住宅の建設に懸命になっている市の姿勢が少しずつ住民に理解されたのか、まちづくり協議会をつくろうという動きが5月中旬頃始まった。自治会の範囲をベース



に、「桜口5」「桜備4」「深備5」「深田4南」の4つのまちづくり協議会を作ることになり、それぞれが6月18日に設立された（「深田4南」は既存のメイン六甲BCビル管理組合が再開発に向けた活動を4月から始めていた。ビル解体後、協議会に移行した）。

各協議会の役員は20人程度で、権利タイプ、被災状況などいろいろな立場を代表できるよう、バランスよく自薦、他薦で選ばれた。

まちづくり協議会の役割は、住民の合意形成を図り、まちづくり提案をすること。さらに、事業の進捗に合わせ、施設内容の検討、床価格に関する市との協議、建物や公園などの管理運営に関する事を決定することである。

住民主体による協議会の運営を尊重するため、神戸市は協議会の会合に参加するが、求められた質問に答える程度に留めた。また、市は協議会の活動費を助成し、コンサルタントを派遣して計画づくりを支援し、まちづくり提案を尊重して都市計画に反映させる役割を負った。

地区を4つの協議会に分けたため、全体を調整する「六甲道駅南地区まちづくり連合協議会」を平成7年7月に設置した。

## 7.まちづくり協議会での議論

まちづくり協議会での議論は公園に関わる問題から始まった。最も意見が分かれる問題であり、これが決まらないとビルの敷地が決まらない。

### (1) 公園の形状と住宅棟の方位の関係

住民の意向は南向き住宅を望む声が強かった。それを計画しやすくするため公園の東西の幅を縮めて南北に伸ばし、形状を正方形から羽子板状に変更した。

### (2) 公園の規模と建物の高さとの関係

これは、住民有志によるカウンタープランと市の都市計画決定案との根本的な相違点である。神戸市から防災公園の必要性を説明した上で、

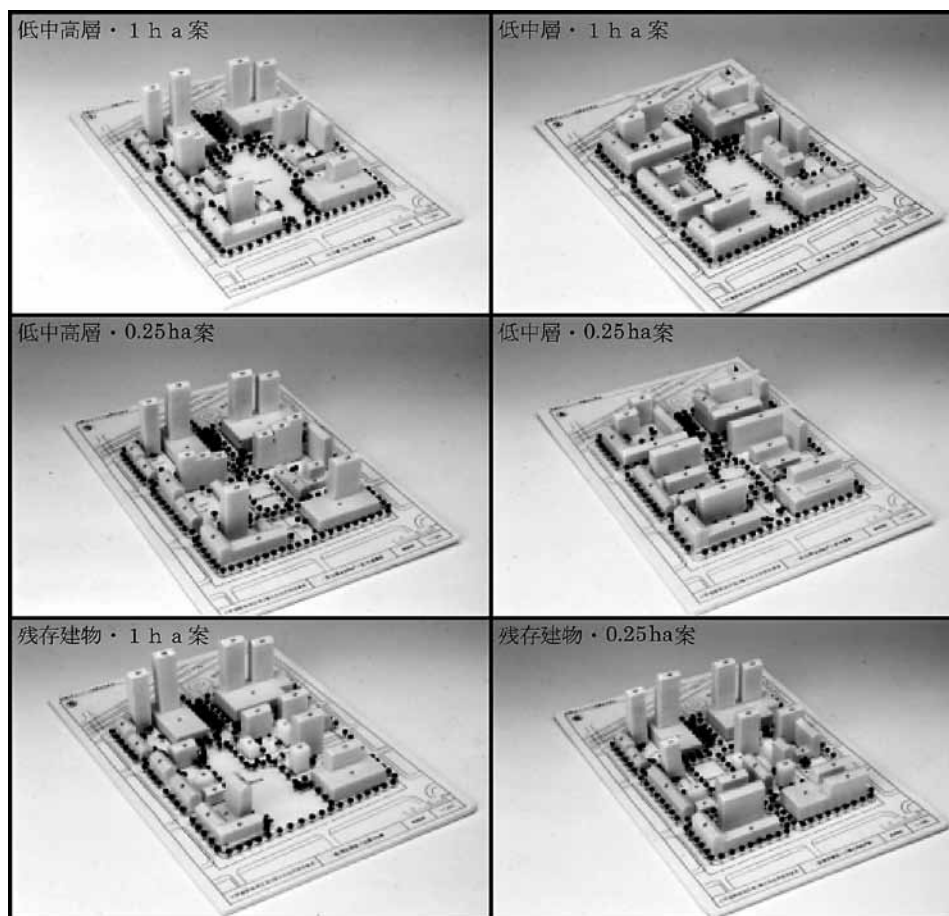
- ・公園は、1haの近隣公園の場合、2,500㎡の街区公園の場合
- ・建物は、高層・中層・低層の混在の場合、中層・低層の場合
- ・残存マンション（比較的建物の規模が大きく、震災による被害が小さかったマンションのことで、地区内に4棟あった）を残す場合、取り壊して一緒に再開発する場合

を組み合わせ、それぞれ模型を作り比較しながら議論した。

### (3) 公園の規模とビルの床価格の関係

国の公園設置基準は街区公園が2,500㎡、その上は近隣公園の2haである。国との事前調整で基準の2haを1haまで下げることが了解を得ていた。1haをさらに縮小すれば近隣公園の国庫補助対象から外れて地元負担が増える結果、事業収支の面からビルの床価格の上昇につながる懸念があった。





公園の規模と建物の高さとの関係を比較する模型

事業を行う最大の目的は防災公園を新たに整備することにある。市としては、防災公園として必要な規模はどうしても譲れない一線であった。

議論を尽くした段階で協議会の役員会の中では、「1haの公園と高層・中層の建物案」と「2,500㎡の公園と中層・低層の建物案」の2案が競り合った。役員会だけで1案に絞るには責任が重すぎた。

各協議会は住民集会を開いて一般住民の意見を集約することになった。しかし、集会は住民の出席率が3割程度と低く、これだけで決めるのも不安があり、より多くの意見を聞こうとアンケート調査を実施することになった（回収率は40～50%）。アンケート調査の結果は、協議会によってばらつきがあるが、1haの公園を支持する回答が56%～70%だった。

この結果になったのは、震災直後に1次避難場所として、また、救援活動のためにも広い場所が欲しかったという生々しい記憶が強く残っていたこと、さらには公園の規模に対する市の考えが簡単には変わりそうにないことなどによるものといえる。

年が明け、平成8年2月～3月にかけて再度住民集会を開いた。このときの出席率は60～70%と高かった。これまでの経緯やアンケート調査の結果を報告して採決した結果、「公園は『概ね1ha』で、羽子板状」が決まった。

これ以降に行われる各協議会での建物配置計画、施設構成の検討結果次第で、公園の形状、規模の微調整があり得ることを含む『概ね1ha』だった。

公園の規模は、一戸でも南面する住宅を増やそうと、公園の東西の幅を狭めて建築敷地を拡幅したことにより、最終的に面積を1haから9,300㎡に縮小して決着した。



まちづくり協議会の様子

## 8.まちづくり提案の提出

平成8年12月、まちづくり提案が市長宛に提出された。

提案の主な内容は次の通りである。

- (1) 公園は1haを9,300㎡に縮小し、形状を正方形から羽子板状にして、国道2号に接続する。
- (2) 住棟は出来る限り南向きを確保する。
- (3) 1棟は概ね50戸単位で計画する（管理組合での合意形成をし易くする）。  
駅前の超高層を除き、高さは概ね14階以下にする（管理費を抑えるため）。
- (4) 店舗はできる限り外向き店舗とする。
- (5) 誘致施設として、区役所、量販店、スポーツ施設などを検討する。
- (6) 残存マンションは市とそれぞれがよく話し合い、柔軟に対応する。

この提案を受けて神戸市は、平成9年2月に都市計画を変更した。当初の都市計画決定からほぼ2年を要したことになる。



まちづくり提案（全体像）

## 9.「深田4南」（メイン六甲BCビル）再開発の経緯

ここで、「深田4南」（メイン六甲BCビル）の再開発の経緯をまとめて置く。

- (1) 平成7年2月、市は「建物被災度調査の結果、修復不能である。」と住民に報告
- (2) 平成7年4月、メイン六甲BCビル管理組合の総会で、1日も早い復興を再開発事業によって行う方針とコンサルタントの導入を決定

- (3) 施設計画部会、評価・補償部会の2つの部会を精力的に開催  
(1haの六甲道南公園からは道路を隔てているため、公園の規模、形状の議論に影響されることなく進められた。)
- (4) 平成7年11月、総会で計画案を合意
- (5) 平成8年3月、市は事業計画を決定
- (6) 平成9年3月、管理処分計画(権利の置き換え)を決定
- (7) 平成9年7月、建築工事着手
- (8) 平成12年4月、竣工、オープン

このように、「深田4南」(メイン六甲BCビル)の建替えの再開発は4協議会の中で最初に事業が動きだし、そして最初に完了した。

このことが、他の3協議会などに次のような様々な影響を与えた。

- (1) 地区内に、再開発事業が動き出しているという実感を与えた。
- (2) 地区内の住民は、事業の手順を目の当たりに実感できた。
- (3) 床価格の基準ができた。
- (4) 早期に完成した住宅には、他の協議会の人でも希望すれば入居できた。
- (5) 売れ残りが心配された一般分譲のマンションが即日完売され、事業に弾みがついた。



竣工した深田4南のビル

## 10. 公的賃貸住宅

公的賃貸住宅は、事業を行うことにより住宅に困窮することとなる従前居住者に優先的に提供する市営の賃貸住宅で、いわゆる受け皿賃貸住宅である。

アンケートや個別ヒアリングをして必要戸数を把握し、桜口5に41戸、深備5に44戸、桜備4に35戸、計120戸を計画した。いずれの公的賃貸住宅棟も、各地区の最初(管理処分計画決定の前)に建設した。

最終的には105戸に地区内の権利者が入居した。家賃は一般の復興公営住宅と同じで、応能応益家賃で震災減免も適用された。

## 11. 権利の置き換え・床価格

再開発ビルの床価格がいくらになるかは権利者にとって生活再建に直接大きく関わる問題だけに、「再開発メリットを示せ」「一人でも多くの方が戻れるように・・・」と住民の関心が高く、各協議会からは市に対して床価格低減の要望書が提出された。

事業が先行した「深田4南」の床価格が基準となり、「桜口5」ではその約7割の価格で、残る2協議会はその間の路線価に比例する価格で決着した。

## 12. 住民のワークショップによる公園計画案づくり

連合協議会では、子供からお年寄りまで様々な住民が参加するワークショップを開催し、公園の計画案づくりをした。5グループの案を順に集約して、地域の様々な人が安全に楽しみ、花や緑のある、地域のイベントやお祭りができ、非常時に



は防災拠点となる公園の基本イメージがまとまった。このまとめをベースに公園が整備された。

住民によるワークショップ



### 13.住民の集い

住戸の設計に、入居予定の女性の意見を反映させるため、協議会ごとに「女性の集い」を開催した。女性の多彩な要望をかなえるため、間取りはメニュープランを採用し、内装材の色は選択制に、住宅設備（床暖房、電磁調理器、オープン、レンジ、浄水器、食洗器、流し台の高さ等）はオプション対応とした。

女性の意見が反映された住宅は一般分譲でも好評で、「売りやすいマンション」になるという効果も生んだ。

### 14.都市環境デザイン基準

今回の事業には、多くの再開発コンサルタント、建築設計事務所が関わった。マスターアーキテクト制をとらないので、同時進行する4つのまちづくり協議会の計画案が矛盾しないように、全体計画の基本的な考え方を固めておく必要があった。

この基準は2つの設計指針により構成されている。

#### (1) まちづくりの基本方針

地区全体の環境デザインの考え方、住宅供給の方針、商業計画の方針等についてまとめたもので、まちづくり協議会で大いに議論された。

#### (2) 都市環境デザインキーワード

具体的な建築物や外部空間の設計指針をまとめた74のデザインキーワードで、「継承したい六甲道らしさ(30項目)」と、「新しく創造する六甲道らしさ(44項目)」にまとめている。キーワードを「必守」「必考」「参考」の3つのレベルに分類して運用した。

中でも住民の関心が高かった外壁の色は、カラーコーディネーターを交えて地区全体、隣接する建物相互で調和がとれるよう調整している。

完成した街並みは、14棟の建物が多様な表情を持ちながらも、地区全体としては緩やかなデザインの統一がなされている。デザイン基準が効果を発揮したと言えよう。

## ● 事業を振り返って ●

平成16年3月に全14棟の建物が竣工した。さらに、平成17年9月に六甲道南公園の整備も終わり、事業は完成した。以下では、事業を振り返ってみる。

### 15.新たなコミュニティづくりの動き

再開発事業は新たな住民が多く転入してくるので、どうしても新旧住民が集う新たなコミュニティ作りが求められる。

入居歓迎会、まち開きイベントが新しいコミュニティづくりのきっかけになっている。



公園や公園内に建設された自治会館の日常の管理運営は地域に委ねられている。その受け皿になっているのは、南八幡自治会連合会である。定期的な公園の清掃、会館の毎日の管理運営を行っている。

「六甲道南公園はなクラブ」は再開発事業の途中から、街に花で潤いを出そうと始まった有志のグループである。現在も公園の中にできた市民花壇の植栽を維持管理している。

課題は、協議会が解散した後に自治会が復活しているが、新しい住民の加入者が少ないことである。

さらに店舗会も、「深備5」のビルに入居する商業者が「タントの会」を設立しただけで、その輪が地区全体に広がる気配を見せていないことも課題である。

現在、自治会による餅つき大会など季節のイベントの開催、タントの会のフリーマーケットなど、地道な活動が続けられている。



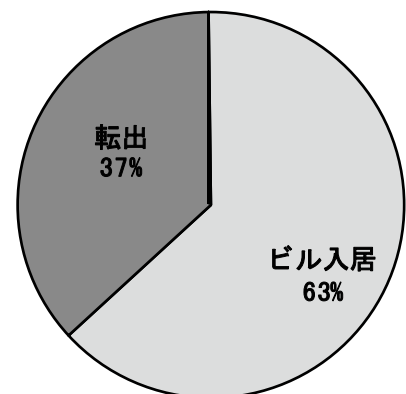
まち開きのイベント

## 16. 居住、営業していた人たちは事業後どれだけ残ったか

事業着手前に、この地区で居住や営業をしていた人は593人（世帯）で、そのうちビルに入居したのは63%であった。これは、一般的な再開発に比べれば、比較的高い残留率といえる。

一方で、37%の人（世帯）が転出したことも事実である。

転出の理由として、戸建て住宅を希望して地区外の代替地を求めた人、隣接地の市営住宅に入居した人、他の民間賃貸住宅を探した人、震災を機に家族と一緒に住むことになった高齢者など、それぞれの事情が働いたことがあげられる。



居住、営業者の入居率

## 17. 再開発事業だからできたこと

- (1) 事業用仮設住宅の地区内建設
- (2) 公的賃貸住宅の地区内建設
- (3) 新たな機能の導入 —— 区役所、スポーツ施設、量販店、駐車場など
- (4) 公共施設の整備 —— シンボルとなる防災公園、歩行者用デッキなど
- (5) 幅広い層を対象とした住宅供給 —— 人口、世帯数は震災前の約1.3倍になっている。

## 18. 再開発事業でできなかったが、工夫したこと

- (1) 戸建、低層住宅の街
  - 対応策としては、戸建て住宅の希望者に地区周辺の代替地を斡旋した。
- (2) 震災後2、3年の短期間の復旧、復興
  - 対応策は次の通りである。

- ① 地区内に仮設住宅を建設し、とりあえず地区内に戻ってもらう努力をした。
  - ・ 事業用仮設住宅を建設した。
  - ・ 自宅の建築を容認した（事業で移転時には評価・補償した）。
- ② 事業を進める中での工夫として
  - ・ 工区を細分化し、できるところから早期着工した。
  - ・ 工区間の権利移動で早期に完成する住宅への入居を可能にした。
  - ・ 公的賃貸住宅を先行建設した。

## 19.六甲道駅南地区の再開発事業が10年で完了できた要因

六甲道駅南地区の再開発事業は、同程度の大規模な再開発事業に比べると、かなり速く完了したといわれている。10年で完了した要因は、被災地の復興事業という特殊要因もあったが、次のことが主要な要因といえる。

(1) まちづくり協議会が十分に機能したことである。

- ① 地元が一元化した（分裂しなかった）。
- ② 協議会で議論が尽された。
- ③ 協議会の情報が住民に対して常にオープンにされた  
（ニュースの発行、各種説明会、アンケート、郵便による投票などの工夫）。
- ④ 住民は協議会を信頼し、決定内容には従った。

(2) 住民（協議会）、専門家、行政の連携が上手くいった。

全体の総合力で完成まで駆け抜けた10年という印象である。



完成した六甲道南地区



六甲道南公園

\*この原稿は、『伝承 阪神・淡路大震災 ～われわれが学んだこと～』（神戸防災技術者の会、平成20年1月17日発行）に掲載した文章を一部修正加筆したものである。

## ◆ CASBEE神戸～神戸市建築物総合環境評価制度～について ◆

### 1. はじめに

近年、地球環境問題、特に地球温暖化が喫緊の課題となっており、様々な分野で環境負荷の軽減が求められています。そのうち温室効果ガス削減については、2008年に気候変動枠組条約に基づく京都議定書の第一約束期間に突入しており、日本における温室効果ガスの削減率－6%という目標達成に向けた取り組みが求められています。その中でも、特に増えつつある民生部門のエネルギー消費抑制が大きな課題となっています。

このような状況の中、持続可能＝サステナブルな都市を築いていくために、多方面にわたって様々な取り組みが行われています。中でも大量のエネルギー、資源を消費、廃棄する建築の分野が果たす役割は極めて大きく、環境負荷の少ない建物計画の促進を図っていくことが、健全で快適な環境を確保することにつながるることとなります。

### 2. CASBEE神戸について

CASBEEとは、産・官・学共同プロジェクトにより開発された「建築物総合環境性能評価システム」です。

その評価については、建築物の室内環境、室外環境、サービス性能、省エネ、資源の再利用、自然エネルギー利用、敷地外への環境負荷の影響など多岐にわたる項目について自己評価するものとなっています。

また、その評価結果を公表することにより、建築主等の「環境負荷の低減」と「優良な建築資産の蓄積」に対する自主的な取り組みを促進させることを本制度の目的としています。

神戸市では、平成18年8月1日より「CASBEE神戸～神戸市建築物総合環境評価制度」を運用しており、この制度の普及により、市民が安全で安心な生活を営むことのできる都市環境の確保、恵まれた自然環境の維持、もって持続可能な社会の構築及び地球環境の保全に寄与することを期待しています。

#### ●届出対象となる建築物

全ての用途の建築物で下記の規模以上のものが対象で、工事に着工する日の21日前までに届出が必要です。

新築の場合	延べ面積が2,000㎡／棟以上
増築の場合	増築部分の延べ面積が2,000㎡／棟以上

※CASBEE神戸では、棟毎に届出が必要になります。

#### ●評価方法について

CASBEEにおける評価については、建築物及び敷地内の性能等を評価するQ（環境品質・性能）と建築物が敷地外の環境に与える影響に関して評価するL（環境負荷）の両面から評価を行います。（図1参照）

そして、そのQとLにより、図2に示すグラフを用いて、その比（ $Q/L=BEE$ 値）に応じた5段階（S, A, B+, B-, C）のランキング評価を行います。

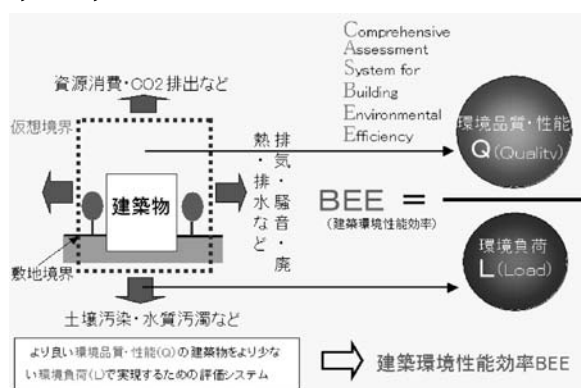


図1：CASBEE概念図

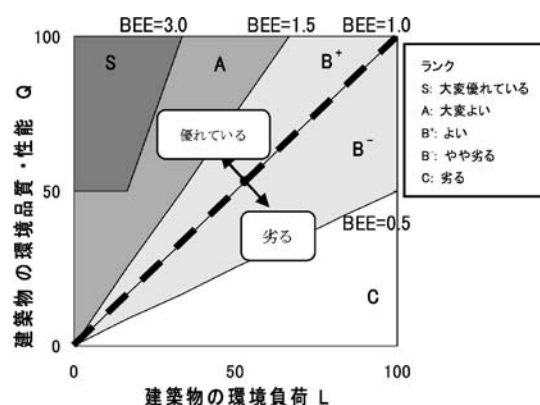
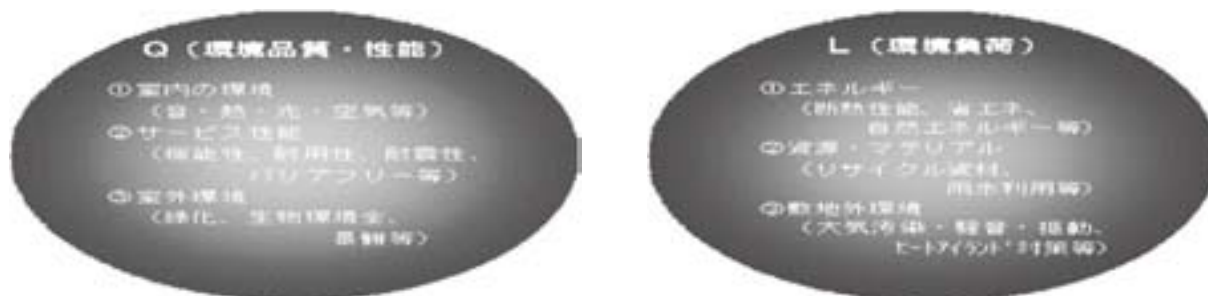


図2：BEE値に基づくラベリング

### ●評価項目について

QとLはそれぞれ3つの評価分野に分かれています。その評価分野ごとに評価項目が設けられており、レベル1～5の5段階で評価を行います。



### 3. これまでの届出状況 (平成18年度～平成19年度)

平成18年度及び平成19年度における用途別届出件数及びランキング分布は、以下のようになっています。用途別にみると、半数以上が集合住宅で、ランキングについてはB+評価が約7割となっています。

	平成18年度							平成19年度						
	S	A	B+	B-	C	小計	平均	S	A	B+	B-	C	小計	平均
事務所	0	0	2	0	0	2	1.05	0	2	7	1	0	10	1.26
学校	0	2	1	0	0	3	1.50	0	3	2	0	0	5	1.44
物販店	0	0	5	1	0	6	1.15	0	0	10	0	0	10	1.06
飲食店	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	-
集会所	0	0	1	0	0	1	1.10	0	0	3	0	0	3	1.12
工場	0	2	4	4	0	10	1.03	0	3	11	11	0	25	1.06
病院	0	0	4	1	0	5	1.02	0	0	8	3	0	11	1.03
ホテル	0	0	0	0	0	0	-	0	0	3	1	0	4	1.15
集合住宅	0	0	33	8	0	41	1.04	0	8	49	11	0	68	1.11
計	0	4	50	14	0	68	1.07	0	16	93	27	0	136	1.11

※届出時のランキングのため、変更になる場合があります。

上記の届出状況からは、BEE値の平均値を比べてみても、平成18年度から平成19年度では、ほとんど変化が見られない状況になっています。一方、平成20年度には、初の最高レベル評価であるSランク物件が届出されるなど、積極的に環境配慮に取り組む計画も見られるようになってきています。

今後、社会的にさらに環境負荷の軽減が求められることが想定される中、CASBEE神戸についても、より環境性能の高い建築物を誘導することが必要であると考えています。また、当制度の運用にあたっては、事務所協会の皆様のお力が不可欠であると考えておりますので、今後も引き続きご協力よろしくお願いいたします。

#### CASBEE神戸の評価結果をご覧ください。

CASBEE神戸による評価結果は、市ホームページ(下記URL参照)で一覧表として公表しています。またSクラス評価の建築物については、建築主、設計者名とともに、その環境配慮の工夫内容を一覧表とは別に詳しく公表しています。

評価結果の公表により、企業、設計者の取り組みが社会に評価され、他の計画における一層の環境配慮の喚起につながることを目指しています。

CASBEE神戸HP : <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/33/36/casbee/index.htm>

※ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。  
神戸市都市計画総局建築指導部建築安全課指導係 TEL (078) 322-5612



受 祝 賞

兵庫県功労賞

柏本 保

兵庫県自治賞

岡田 徹

日事連会長賞

後藤 周亮

# 新 会 員 紹 介

## 名誉会員

10月 多田 勝彦

## 正会員入会

10月 株式会社 メイケン

開設者 牧本 輝重

12月 日本技術サービス株式会社

開設者 鳥井 総司

1月 株式会社 アール・アイ・エー 神戸支社

開設者 上田 伸二

4月 財田建築設計事務所

開設者 財田 俊作

本郷正人建築設計事務所

開設者 本郷 正人

株式会社 益田工務店一級建築士事務所

開設者 橋本 龍彦

6月 有限会社 大田建設一級建築士事務所

開設者 太田 博士

7月 株式会社 NBC一級建築士事務所

開設者 九門 宏至

寄神建設株式会社一級建築士事務所

開設者 吉田 忍

アイディエー一級建築士事務所

開設者 伊田 昌弘

9月 協立建築事務所

開設者 石川 誠一

10月 株式会社 黒田建築設計事務所

開設者 石田 邦夫

11月 株式会社 創建設計事務所

開設者 佐川 圭

12月 株式会社 未来工房

開設者 横川 実

株式会社 東郷建築設計

開設者 東郷 正道

有限会社 あいき鑑定評価

開設者 土田 剛司

## 賛助会入会

6月 株式会社 総合資格 神戸支店

担当者名 原田 新平

7月 株式会社 建築資料研究社 日建学院神戸校

担当者名 菊池 圭一・大賀 秀晃

12月 株式会社 桐井製作所

代表取締役 桐井 隆

担当者名 武藤 義廣・中山 昌也

## クリーンな天然ガスが快適で経済的な生活空間をデザインします。

ガスので電気をつくる



発電時の排熱を給湯や暖房に利用できる家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」。エネルギー利用率は85.5%と従来の電気供給システムに比べて2倍以上のエネルギー効率を実現しました。エネルギーを有効的に利用することで、CO<sub>2</sub>排出量も削減します。



お風呂がサウナに

## ミストカワック

ミストサウナ機能付き ガス温水浴室暖房乾燥機



浴室内の温度を40℃前後に保ち、ゆっくり体の芯からあたたまるので入浴後もあたたかさが持続して、湯冷めしにくくなります。刺激の少ないミストで気持ちいい汗を流し、心身ともにリラックスできる。そんな癒し効果もミストサウナの魅力です。



輻射熱で頭寒足熱暖房

## ガス温水床暖房 ヌック



ガス温水床暖房「ヌック」なら、すばやく快適温度に到達。床面全体からのふく射熱と伝導や対流によって暖かさが伝わります。熱は壁や天井に一度吸収され、再びふく射されます。だから室内の温度ムラがなく、均一に快適に暖かくなります。



## お手入れラクラク ガラストップコンロ

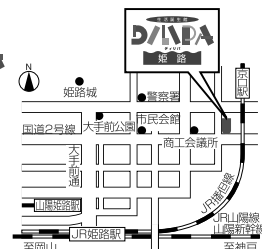
ガスの自慢の強火なら、お料理はおいしくスピーディに仕上がります。調理時間が短縮されれば、経済的です。さらにガラストップタイプなら、お手入れも簡単。



見て、触れて、体感できる新感覚のショールーム。「生活誕生間DILIPA」で素敵な住まいのプランニング。



【開館時間】10:00～18:00(休館日:水曜日ただし祝日の場合はその翌日・年末年始)  
 【所在地】神戸市中央区東川崎町1-2-2  
 ハウジングデザインセンター神戸1階  
 【お問い合わせ先】Tel: 078-366-2657  
 【最寄り駅】JR神戸駅・地下鉄ハーバーランド駅  
 徒歩すぐ、高速神戸駅徒歩4分



【開館時間】9:00～17:30  
 (水曜日・年末年始休館)  
 【所在地】姫路市神屋町4-8  
 【お問い合わせ先】Tel: 079-284-4300  
 【最寄り駅】JR播但線京口駅下車5分/  
 神姫バス神屋町西ディルバ姫路前  
 下車すぐ

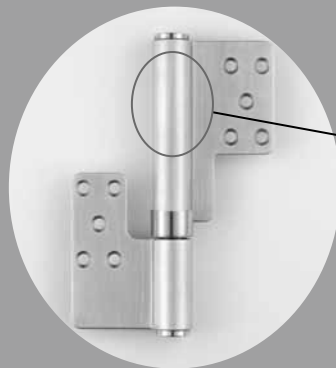
開  
か  
な  
く  
な  
ら  
な  
ら  
!!

もし、地震でドアが



イザという時の  
逃げ道を確保!

ご自宅の  
玄関ドアの丁番は  
この形ですか?



このスプリングが  
地震の揺れを吸収します

**KITAMURA**  
**対震丁番**

これはひとつの安全・安心

地震で建物が少し傾いても玄関ドアを開けられるのは対震丁番だから。

北村対震丁番は、プラス1°\*なら、27.4kgで開放可能。(日本建築総合試験所 試験番号IXB-03-027) \*右開きドアで右に丁番をつけ、建物が右に傾く場合  
●ドアを開けられる傾き角度は被災状況により異なります。変形角度が大きく、ドアがクラッシュした場合、人の力では開けられない場合もあります。

日本を代表する特殊丁番メーカー  
**(株)北村鉄工所** ■お問合せ・ご注文は—

**☎06-6719-3031(代)**

ホームページ=<http://www.k-iw.co.jp> e-mail=[kitamura@k-iw.co.jp](mailto:kitamura@k-iw.co.jp)



# 三ツ星ベルトの 加硫ゴム系シート機械的固定工法

# ニューブレック®

特長

## ニューブレック

- 塩素系の原材料および可塑剤は使用していません。
- 耐久性は長年の実績で実証済みです。
- 耐衝撃性にすぐれています。
- 耐引裂性にすぐれています。
- 温度変化による寸法安定性にすぐれています。

## 機械的固定工法

- 下地処理の必要がありません。
- 下地が湿潤している場合でも施工が可能です。
- 有機溶剤の使用量が軽減できます。

## 高周波誘導加熱溶着

- 防水層本体に穴をあけずに固定できます。
- ディスクと防水層が確実に一体化します。
- ディスクを先打ちするため、迅速な施工が可能です。

人を想い、  
地球を想う。



## 三ツ星ベルト株式会社 建設資材事業部 <http://www.mitsuboshi.co.jp>

神戸本社 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 TEL(078)685-5771 FAX(078)685-5681  
東部建築課 〒100-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号(日本橋プラザビル10階) TEL(03)5202-2506 FAX(03)5202-2526  
西部建築課 〒653-0024 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 TEL(078)685-5791 FAX(078)685-5789  
名古屋営業所 〒485-0077 小牧市大字西之島1818番地(三ツ星ベルト株式会社 名古屋工場内) TEL(0568)41-7600 FAX(0568)41-7601  
札幌営業所 〒062-0902 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 TEL(011)841-9131 FAX(011)812-9370  
福岡営業所 〒816-0088 福岡市博多区板付1丁目3番1号 TEL(092)441-4453 FAX(092)451-7186  
広島事務所 〒738-0004 広島県廿日市市榎尾2丁目2番39号 TEL(0829)32-9292 FAX(0829)32-9294  
西国事務所 〒769-2401 香川県さぬき市津田町津田2993番地 TEL(0879)42-3189 FAX(0879)42-2295

**■アプローチ39号投稿のお願い**

会員・賛助会員の皆様には、何かと会報発行のためにご協力願っておりますが、本誌面を通じ、会員相互の話し合いの場として当欄をご活用戴きたく、皆様方のご投稿をお待ちしております。内容については自由です。

## 投稿先

〒650-0013 神戸市中央区花隈町9-12  
高松建築設計事務所 高松 範明  
TEL 078-341-6545  
FAX 078-351-6019  
E-mail: norip0223@par.odn.ne.jp

**編集後記**

震災から14年という年月が経過しましたが、災害の記憶は風化していくのではという私の心配とは裏腹に、昨年は耐震補強に興味を持つ方にお会いすることがむしろ多かったような気がしました。それで私自身、心のどこかに神戸にはしばらくは地震が来ないという気持ちがあったのだと気付かされ、反省させられました。

建築士法改正で業務報告や重要事項説明など設計業務以外の雑務が増えて、これからさらに忙しくなることが考えられますが、仕事の質を落とすことなく、今年はこれまで以上に「地震は私たちの住む町にもいつ起きてもおかしくない」という危機感をもって、責任をもって設計をおこなっていきたい。

**吉田多雄**

■編集 集 社団法人兵庫県建築設計事務所協会 神戸支部  
広報部 担当副支部長 山本康一郎  
 広報部長 高松 範明  
 スタッフ 成瀬 秀一  
 小比賀秀士  
 吉田 多雄  
 福留 清

■発行 行 社団法人兵庫県建築士事務所協会 神戸支部  
 神戸市中央区二宮町4-11-10  
 〒651-0093  
 株式会社 山本設計  
 TEL 078-231-2921  
 FAX 078-231-2924  
 E-mail : yamamoto.k@yamamotosekai.co.jp

■編集 集 デジタルグラフィック株式会社  
 神戸市中央区弁天町1番1号  
 TEL 078-371-7000  
 FAX 078-371-7001

